

令和 7 年度

随時 2 級・随時 3 級・基礎級技能検定試験
受検案内（第 2 版）



静岡県職業能力開発協会

担 当：事業課 随時試験担当

T E L：054-345-9377

F A X：054-345-2397

H P：<https://shivada.com>

※内容は更新されますのでHPでも
確認をお願いします。



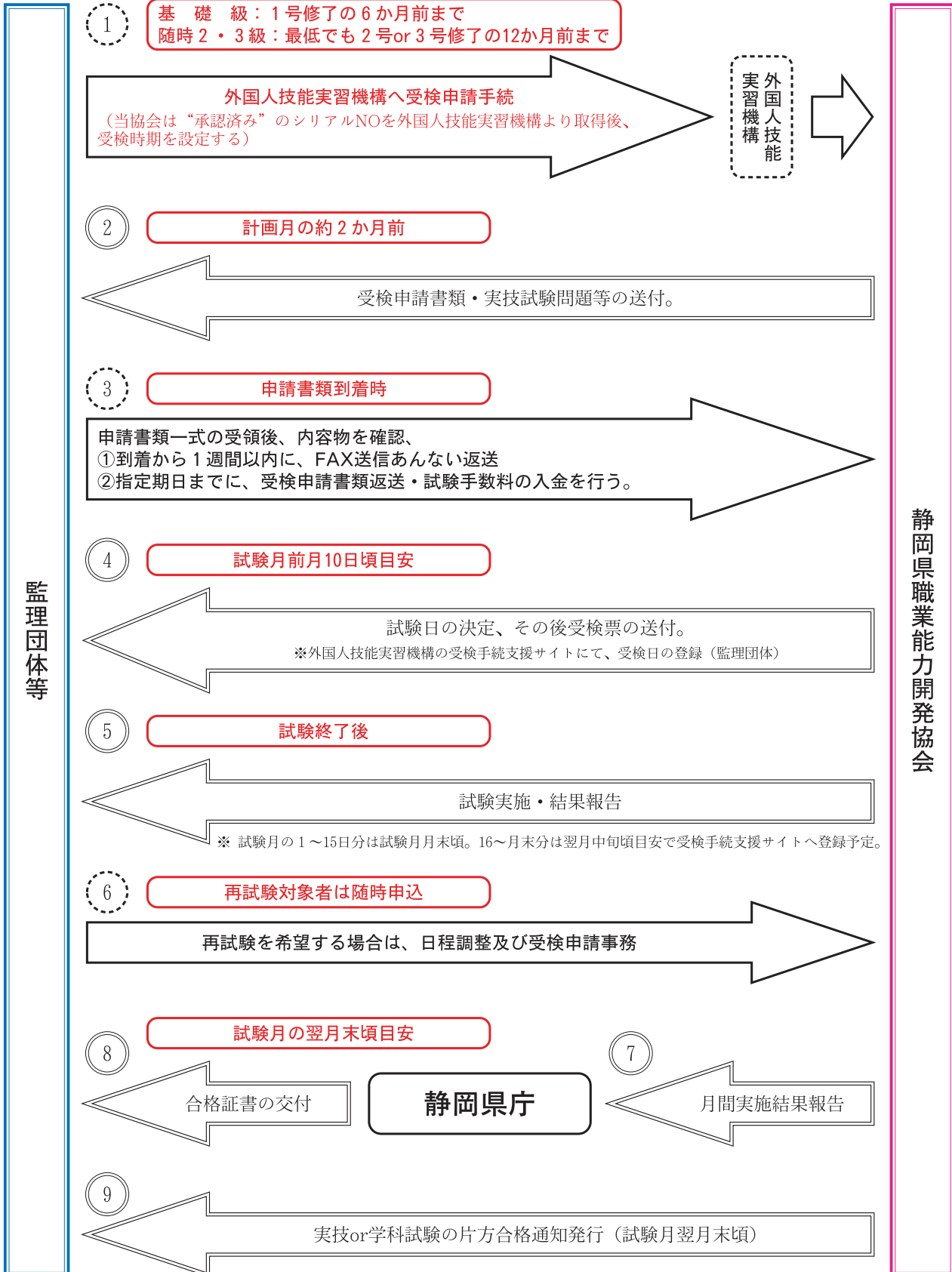
目 次

① 技能検定試験事務手続きについて	1
1. 受検に係る流れ	1
2. 受検申請事務について	2
2－1 随時試験用受検申請書の記入について	3
2－2 試験手数料の納付	5
2－3 補佐員推薦書	5
2－4 技能検定試験において免許、特別教育が必要な職種（作業）一覧	6
2－5 試験日の設定・通知	7
3. 試験終了後の事務	7
3－1 請求書の提出（出張試験方式の場合のみ）	7
3－2 試験結果合否連絡	8
3－3 合格証書・片方合格通知の発行	8
4. 再試験について	8
② 試験の実施についての注意事項	9
1. 試験会場・設備基準について	9
実技試験について	9
学科試験について	11
③ 新型コロナウイルス感染症対策における受検上の注意事項	13
④ 公示状況及び試験方式一覧	14
⑤ 中央幹旋材料等一覧（各種申込用紙等）	17
⑥ 基礎級鑄造（鑄鉄鑄物鑄造・非鑄鉄鑄物鑄造作業）用木型借用書	47
⑦ 技能検定試験過去問題コピーサービス	48
⑧ 外国人技能検定試験に係る受検申請内容の変更依頼届	50
⑨ 外国人技能検定試験の欠席届	51
⑩ よくあるご質問	52
参考資料 厚生労働省ホームページ“技能実習制度の仕組み”等	53
厚生労働省リーフレット“技能実習生の「技能検定」に関する注意点”	56
受験時の注意事項	60
外国人実習生技能検定 金属プレス金型チェック表	61

① 技能検定試験事務手続きについて

1. 受検に係る流れ

技能検定（随時試験）事務の流れ



2. 受検申請事務について

試験計画月の約2か月前（例：8月の試験であれば、6月上旬が目安）に、受検申請に関する書類一式を監理団体宛に送付いたします。

同封書類に記載された指定期日までに、受検申請書類の返送及び試験手数料の入金をお願いいたします。

●受検申請時提出書類

- ・FAX送信あんない・・・受検申請書類到着から1週間以内に当協会までFAXにてご返信ください。

※返信された内容を試験会場として、登録するので、必ず受入企業と確認してください。（ぐくまれに試験会場の住所・電話番号が異なる場合があります。）

下記の書類は郵送（追跡できる郵送方法）にてご返送ください。

- ・受検申請書類（受検者直筆サイン及び写真貼付が必須です。）
- ・在留カード写しまたはパスポート写し（文字・写真が鮮明なもの）
- ・試験手数料振込明細書写し
- ・補佐員推薦書（申請書類に同封されている場合のみ）
- ・随時3級受検者は、基礎級合格証書写し
随時2級受検者は、随時3級合格証書または実技試験片方合格通知写し
- ・免許特別教育等が必要な職種（作業）については、免許証等及び自己申告書（詳細は、P. 6「2－4 技能検定試験において免許、特別教育等が必要な職種（作業）一覧」を参照）
実技試験申請者のみ
- ・試験会場所在地が分かりにくい場合は、案内地図等

上記、提出書類は、指定された提出期限（消印有効）までに必ずご提出ください。

提出期限までに、受検申請書類等の受理ができない（受検申請書類等の不備が提出期限内に修正されない場合も含む）または、試験手数料の納入（提出期限内に入金手続きをすること。また振込日指定はしないこと。）が無い場合は、試験計画月の変更及び他監理団体分を振替実施させていただきますのでご了承ください。

また、提出期限に間に合わない場合は、事前に必ずご連絡ください。（消印有効です）

申請区分名 試験区分名	A 甲	A 乙	A 丙	B	C
実技試験	○		○	免除	○
学科試験	○	○		○	免除
免除資格	なし			実技試験合格者	学科試験合格者

※○は受検する区分

※A区分は免除資格のない申請者で、受検を希望する試験により、A甲・A乙・A丙に区分されます。

同じ実技試験受検希望の申請者でも、学科試験合格後、再試験の申請は「C」区分、実技試験のみ受検を希望される場合（随時2級及び随時3級試験で実技試験だけ受検される場合等）は「A丙」の区分で申請することになります。

2-1 随時試験用受検申請書の記入について

① 随時 級 基礎 級 技能検定受検申請書

技能検定を受けたいので申請します。

静岡県知事 殿

④ 西暦 年 月 日

検定職種 ⑤	選択作業 ⑥	受検番号 ※
(フリガナ)		1 A甲(実技/学科とも受検) 2 A乙(学科のみ受検、実技免除なし) 3 A丙(実技のみ受検、学科免除なし) 4 B (学科受検、実技免除) 5 C (実技受検、学科免除) 6 D (実技/学科とも免除)
氏 名 ⑦ (ローマ字)	受検区分 ⑧	
生年月日 ⑨ 西暦 年 月 日 (歳)	性別 (男/女) ⑩	国籍 ⑪
年令及性別	電話 ()	
現住所 ⑫	都道府県	
実習実施機関 ⑬	所在地	実習期間 (入附月から現在まで) ⑮
職務内容 (実習内容) ⑭	担当者 (姓)	年 月
入国年月日 ⑯	在留期間 ⑰	受検希望時期 ⑱
年 月 日	年 月 日	年 月 日
随時3級 ⑲	検定職種	合格した年月日・技能士番号
基礎級		年 月 日 (歳)
技能検定合格		第 号 判定
試験を受ける区分、実技 ⑲	免状を受けた年月日、合格通知番号	免状 ※
試験 ⑲	(合格通知番号) 第 号	試験 ⑲
試験 ⑲	年 月 日 学科 ⑲	試験 ⑲
試験 ⑲	年 月 日 学科 ⑲	試験 ⑲

※次の事項に同意したうえで、随時試験の受検を申請します。

1. 労働関係等のため、職業能力開発協会が行う以下の事項についての開示

(1) 受検申請書の記載事項

(2) 試験結果

2. 試験に合格した場合の受検番号の公表等

手 実技試験 18,200円

数 料 学科試験 3,100円

技能検定合格証書の受領について

西暦 年 月 日に技能検定合格証書を受領しました。

等 級 ⑲	随時 級・基礎級 (該当する級に○をつけてください)
検定職種	
選択作業	
受検者氏名 (ローマ字)	

〈合格証書送付先・代表窓口〉

監理団体等 所在地

監理団体等 名

〈合格証書受領時の本人署名〉 (ごうかくしょうしょうけとりのサイン)

(sign) _____

※太枠内は受検申請時に記入してください。(ゴム印可) (切り取らないこと)

原寸サイズの在留カード又はパスポートの写しの貼付スペースです。はみ出さないようにしてください。

※氏名や生年月日に変更がある場合は、該当ページ・箇所も貼付すること。

⑳

※裏面のチェックリストも記入してください。

② 合格証書送付先 (代表窓口)

(雇用主氏名)

本人署名

氏 名 (sign)

③

随時 級 基礎 級 学科 実技 試験写真票

検定職種

選択作業

受検番号 ※

フリガナ

氏 名

生年月日 年 月 日生

監理団体名

実習実施機関

写真

試験を受ける方は、タテ(4cm)×ヨコ(3cm)の写真的な写真に氏名を写して全面にノリをつけて貼って下さい。

申請書と写真票は、審査員のものとする

右欄のはがきは、合格証書受領の返信連絡として使用するものです。合格証書受領後に切手を貼付して投函してください。

※複数名分の場合は、切手を貼らずにまとめて封書での返信投函も可です。

②3 (提出時チェック事項)

☐ 在留カード又はパスポートの写し(鮮明なもの)を貼付

☐ 本人署名欄に、受検者の直筆サイン等が記入されているか

☐ 受検職種・作業・区分に誤りがないか

☐ 振込明細の写しを同封 (同封できない場合は、後日FAX等で送付すること)

☐ 技能検定 合格証書の写し

随時3級受検者:基礎級又は基礎2級

随時2級受検者:随時3級

(実技試験の片方合格証でも可)

〈免許、特別教育が必要な職種〉

☐ 免許、特別教育が必要な職種は免許の写し又は自己申告書を同封 (対象職種は別紙「随時級・基礎級技能検定試験受験案内」P6参照)

※申請書の提出及び受検手数料の振込は指定期日までに行ってください。(別紙大切なお知らせ参照)

※チェック項目を確認し、送り、発送してください。

②4 受検申請書の提出と同時に試験手数料を納入 (振込) すること。

(振込先) 口座 静岡銀行 草薙支店 (普通) 0758300

名義 静岡県職業能力開発協会

(振込予定日) 西暦 年 月 日

(振込名義人) _____

※監理団体から複数の実習実施機関を一括納入する場合は、内訳を添付すること。

提出期限以降は、いかなる理由があっても試験手数料の返金はいたしません。

振込受取書又は利用明細書を貼付してください

静岡県葵区追手町9番6号

静岡県経済産業部就業支援局

職業能力開発課のづくり人材班 行

差出人(監理団体又は会社のゴム印)

技能士番号 ※

合格年月日 ※

合格証書番号 ※

合格証書番号 ※

理由 ※

年月日 ※

合格取消理由 ※

備考 ※

【記入上の注意】

- ※の欄にはなにも記入しないこと。
- 記入にあたっては、すべてインキ又はボールペンを用い、日本語文字はかき書で、数字は算用数字を用いて、ていねいに書くこと。特に氏名は、旅券(パスポート)又は在留カードの氏名と同一の記載となるよう字体をくずさないように、正確に記入すること。
- 検定職種の欄には受検を希望する検定職種名を記入すること。
- 選択作業の欄には、実技試験の試験科目に選択制がとられている検定職種を受検しようとする時のみ、選択作業を記入すること。
- 年月日は全て西暦で記入すること。
- 実習期間の欄には、受検資格の基礎となるこれらの経歴を記入すること。(入国年月から現在)
- 実技試験、学科試験の免除を受ける方は、申請の際、試験の免除欄に合格した年月日の番号を記入のうえ、「技能検定試験結果通知」をコピーして添付すること。
- 写真の裏には、氏名を記入のうえ、割がれないように写真全面にノリを付け、貼ること。(割がれやすいノリは使用しないこと)
- 記入した事項に不正があったときは、合格を取り消す場合があります。
- 本人確認に必要な在留カード又は旅券(パスポート)の写し(写真・文字が鮮明なもの)を必ず添付すること。
- 試験手数料は、静岡銀行草薙支店(口座番号 普通預金0758300)口座名義 静岡県職業能力開発協会)に振込納入すること。
- 受検申請書には、手数料の領収書又は振込明細書の写しを添付すること。なお、手数料の納付が後日となる場合は当申請書右下「試験手数料納入報告」欄に予定日・名義人名を記入し提出する。又、納入が完了したら明細書の写しを提出すること。
- 合格証書送付先欄は、合格証書を送付する宛先(監理団体の代表窓口)を記入すること(ゴム印でも可)
- 全ての事項について、漏れなく記入すること。

※ P4.「随時試験 技能検定受検申請書 記入方法」を参照の上、ご記入ください。

随時試験用 技能検定受検申請書 記入方法

番号	項目	記載方法
①	〇〇級 技能検定受検申請書	受検する該当級、基礎級は〇で囲む。随時２級・随時３級は該当級に２・３どちらか記入する。
②	合格証書送付先（代表窓口）	合格証書の送付先は監理団体とし名称を記入する。
③	本人署名 氏名（SIGN）	必ず本人が署名する。 （代理の方が署名することはできません。）
④	申請書作成日	申請書を作成した年月日を記入する。（指定期日までの年月日とすること。）
⑤	検定職種	職種名を記入する。
⑥	選択作業	作業名を記入する。
⑦	氏名	必ずアルファベット（大文字）で記入する。（在留カードと同一に記載下さい。スペース含む）
⑧	受検区分	該当区分を〇で囲む。実技・学科試験ともに受検するのか・免除なのかを確認してください。
⑨	生年月日・年令・性別	西暦で記入する。性別を〇で囲む。
⑩	国籍	カタカナ又は漢字で記入する。
⑪	現住所	受検者の郵便番号・住所を記入する。電話は記入無しでも良い。
⑫	実習実施機関	実習実施企業名を記入する。（実際に所属している場所の名前）
⑬	職務内容（実習内容）	実習内容を記入する。
⑭	所在地	実習実施機関の郵便番号・住所・担当者名・電話番号を記入する。（実際に所属している所） ※県外の実習実施機関・所在地の場合、受検申請受理できない可能性があります。
⑮	実習期間	入国年月から現在までの期間を 西暦 で記入する。
⑯	入国年月日	西暦 で記入する。
⑰	在留期間	西暦 で記入する。
⑱	技能検定合格状況	随時２級・随時３級を受検する際、必ず必要事項を記入し、 技能検定合格証のコピーを添付する。 随時２級受検者は、随時３級実技試験片方合格通知のコピーでも可。
⑲	試験の免除	再試験を受検する際は、必ず合格している試験の等級・作業名・合格年月日・合格通知番号を記入する。再試験通知書を参照すること。
⑳	技能検定合格証書の受領について	太枠内に必要事項を記入する。 裏面の切手は複数名分の場合等まとめて封書で返信する場合は不要となる。
㉑	学科・実技試験写真票	該当級を〇で囲む。随時２級・随時３級は該当級に２・３どちらか記入する。 写真は６ヶ月以内に撮影したもので 裏面に氏名を記入後 、全面にノリ付けをして貼り付ける。
㉒	本人確認書類	本人確認書類を貼付する（鮮明かつ期限内のものに限ります） ※在留カードが望ましい
㉓	提出時チェック事項	チェック項目にレ点し、該当書類の不足が無ければ返送する。
㉔	試験手数料納入報告	振込予定日（指定期日内）・振込名義人（カタカナで記入）、複数実習機関分を一括振込する場合は内訳書を添付する事。

※帰国者の方で随時２級・随時３級を受検申請する場合は「⑪現住所～⑰在留期限」の項目については、
予定としてご記入ください。

2-2 試験手数料の納付

下記指定口座に、銀行振込にて納入してください。振込手数料は、各自ご負担ください。

また、必ず振込証明書類（コピー可）を受検申請書に同封してください。

受検申請書返送時に振込証明書類が同封できない場合は、FAX（054-345-2397）にて当協会まで送付ください。

○実技試験手数料：18,200円 ○学科試験手数料：3,100円

銀行名：静岡銀行 支店名：草薙支店 預金種目：普通預金
口座番号：0758300 口座名義：静岡県職業能力開発協会

※試験手数料は非課税です。

※試験手数料の領収書は、発行されません。振込明細書にて対応ください。

- ・振込期限：当協会からお送りした案内に記載されている提出期限内に入金手続きをしてください。また、振込日指定はしないでください。
- ・振込名義：必ず監理団体名、または、受入企業名をお願いいたします。（受検者等個人名での振込みはご遠慮ください。）
- ・受検申請受付完了後（提出期限以降）は、いかなる理由があっても試験手数料の返金はいたしませんのでご了承ください。また、受検者の入れ替えもできません。

※受検申請完了後とは、受検申請書及び試験手数料の納付どちらも完了した状態を指します。

試験日が決定する前であっても、返金対象とはなりませんのでご注意ください。

2-3 補佐員推薦

補佐員の推薦は、職種（作業）、受検者数及び試験設備環境を総合的に考慮して、必要に応じて当協会より監理団体へ依頼します。

受検申請関連書類の中に補佐員推薦書類が同封されていなければ提出は不要です。

補佐員の職務：技能検定委員の指示を受け、試験会場の準備、試験用材料等の配布、試験時間の測定、作品の回収、採点の補佐等を担当する。

職種（作業）、等級によっては、特別な資格等が必要な場合があります。試験対象職種・作業について精通されている受入企業または会場企業の方を推薦お願いいたします。

2-4 技能検定試験において免許、特別教育等が必要な職種（作業）一覧 （随時2級・随時3級・基礎級 R7年度実施分）

No.	職種（作業）名	等級	該当内容	試験当日の対応
1	金属プレス加工 （金属プレス作業）	随時2級 随時3級	動力プレスの金 型取付け等	特別教育受講修了証等の確認又は 自己申告書への署名
2	鉄工 （構造物鉄工作業）	随時2級 随時3級	ガス溶接 ^{*2*} ³	ガス溶接作業主任者免許証、ガス 溶接技能講習修了証等の資格証の 確認
			アーク溶接 ^{*2}	特別教育受講修了証等の確認又は 自己申告書への署名
3	工場板金 （機械板金作業）	随時2級 随時3級 基礎級	動力プレスの金 型取付け等	特別教育受講修了証等の確認又は 自己申告書への署名
4	電気機器組立て （変圧器組立て作業）	随時2級	ガス溶接 ^{*3}	ガス溶接作業主任者免許証、ガス 溶接技能講習修了証等の資格証等 の確認
5	冷凍空気調和機器施工 （冷凍空気調和機器施工作業）	随時2級	ガス溶接 ^{*3}	ガス溶接作業主任者免許証、ガス 溶接技能講習修了証等の資格証等 の確認
6	製本 （製本作業）	随時2級	動力プレスのシャ ーの刃部取付け等	特別教育受講修了証等の確認又は 自己申告書への署名
7	とび （とび作業）	随時3級 基礎級	足場の組立て、 解体又は変更	特別教育受講修了証等の確認又は 自己申告書への署名
8	配管 （プラント配管作業） 〔配管用炭素鋼鋼管を選択する場合〕 ^{*1}	随時2級	ガス溶接 ^{*2*} ³	ガス溶接作業主任者免許証、ガス 溶接技能講習修了証等の資格証の 確認
			アーク溶接 ^{*2}	特別教育受講修了証等の確認又は 自己申告書への署名
9	内装仕上り施工 （鋼製下地工事作業）	随時2級	研削といし（高 速といし）の取 替え等	特別教育受講修了証等の確認又は 自己申告書への署名
10	サッシ施工 （ビル用サッシ施工作業）	随時2級	アーク溶接	特別教育受講修了証等の確認又は 自己申告書への署名

（※1）配管（プラント配管作業）の課題については、「配管用炭素鋼鋼管」又は「水道用硬質ポリ塩化ビニル管」のいずれかにより実施することとされております。（水道用硬質ポリ塩化ビニル管を選択する場合には、資格証の確認や自己申告書への署名は必要ありません。）

※2 鉄工（構造物鉄工作業）・配管（プラント配管作業「配管用炭素鋼鋼管を選択する場合」）はガス溶接・アーク溶接の2種類の免許等が必要となります。

※3 ガス溶接の資格証が必要な職種は、試験当日に確認をさせていただきますので必ず携帯し、受検するようにお願いいたします。

上記職種の《特別教育受講修了証等に関する自己申告書》は、『実技試験実施要領』の最終ページに添付されています。

受検者数分をコピーし、本人署名（アルファベット（大文字）で記入すること）後、受検申請書と一緒に提出をお願いいたします。

2-5 試験日の通知

技能検定委員の派遣・試験会場及び試験日調整は、当協会が決定します。

試験月の前月10日頃目安で受検票を郵送いたします。試験日の変更はできかねます。

※ 受検票交付後に、監理団体は、外国人技能実習機構の「受検手続支援サイト」においてシリアル番号毎に「受検日」登録を試験実施日までに必ず手続きください。

受検日の登録が無い、または個人情報が不正確な場合は、試験結果登録ができません。登録データに誤りが無いか再確認をお願いいたします。

※ 再試験を行う際は、電話連絡にて試験日の調整を行います。

試験日に受検ができない場合は、事前に当協会に電話連絡し、指定の欠席届（当協会ホームページに様式あり）を提出ください。その際、試験手数料の返金はできません。

受検者の欠席の連絡が事前にあった場合は、欠席した試験については、技能実習制度運営要領上の受検可能回数にカウントする・しないを選択できます。

3. 試験終了後の事務

3-1 請求書の提出（試験会場が受入企業等の場合のみ）

当協会規定に基づき、実技試験実施経費として1名につき1,500円（会場借用費500円・実技試験材料費1,000円）をお支払いいたします。

技能検定試験時に協会職員等より請求書をお渡しします。

会社印の押印、振込指定口座を記入後、試験当日に協会職員等にお渡しいただくか、当協会へ原本を試験月末までに郵送にてご返送ください。

3-2 試験結果の合否連絡

試験日より5営業日以内を目安に、監理団体宛に電話連絡いたします。

監理団体や受入企業からのお問い合わせは、ご遠慮ください。

3-3 合格証書・片方合格通知の発行

- 実技試験及び学科試験両方合格者は、静岡県庁より合格証書が発行されます。
- 実技試験または学科試験のどちらか片方の合格者は、当協会より片方合格通知が発行されます。

どちらも、試験月の翌月末頃を目安に監理団体宛に送付いたします。

万が一、紛失の際は各発行元へ再発行の依頼手続きをしてください。

4 再試験について

実技試験・学科試験の片方、または両方不合格者は、**1回に限り再受検**することができます。

試験結果の合否連絡の際に、合格点に達しなかった受検者の氏名をお伝えします。

再試験をご希望の場合は、希望時期・試験を受けられない不都合日を受入企業と確認後、当協会までご連絡ください。その後、再試験日を調整します。

再試験日は、ご連絡いただいてから**最短でも約3週間後以降**が目安となります。

再試験日決定後には、外国人技能実習機構へ再試験の受検申請手続もお願いいたします。

再試験における申請書の提出、受検手数料についても、期日を厳守ください。

※その他ご不明点等ありましたらご連絡ください。

- 学科試験の再試験は、原則として当協会または当協会指定会場にて実施いたします。
- 提出書類は初回試験に準じます。
 - ・受検申請書類（受検者直筆サイン及び写真貼付が必須です。）
 - ・在留カード写またはパスポート写し
 - ・試験手数料振込明細書写し
 - ・随時3級受検者は、基礎級合格証書写し
 - 随時2級受検者は、随時3級合格証書または実技試験片方合格通知写し
 - ・免許特別教育等が必要な職種（作業）については、免許書等または自己申告書（詳細は、P. 6「2-4 技能検定試験において免許、特別教育等が必要な職種（作業）一覧」を参照）
 - 実技試験申請者のみ
 - ・試験会場所在地が分かりにくい場合は、案内地図等

② 試験実施についての注意事項

1. 試験会場・設備基準について

- ①原則として実技試験・学科試験会場は、同一会場・同一日に実施します。
- ②試験の実施方式は集合試験方式と出張試験方式の2種類があります。
詳細は、別表P.14「④別表 公示状況及び試験方式一覧」をご参照ください。
- ③出張方式試験の場合は、試験会場の手配及び設営は、監理団体・受入企業にてお願いします。（静岡県内であれば、受検者所属事業所以外での実施も可能です。）
- ④実技試験及び学科試験会場が別会場になる場合は、事前に当協会までご相談ください。
会場の詳細は、別添「FAX. 送信あんない」に必要事項を記入し、受検申請書類到着から1週間以内を目安にFAXにてご返信ください。
- ⑤試験会場所在地が分かりにくい場合は、案内地図を添付してください。
（技能検定委員・協会職員が会場に伺う際に使用します。）

下記の注意事項をよく読み、公正・公平な試験実施へのご協力をお願いします。

また、受入企業の担当者及び受検者への周知についてもよろしくをお願いします。

【実技試験】

実技試験の形式について

実技試験は、職種（作業）により次の3形式のうち、いずれか1又は複数の形式により実施されます。
職種（作業）別の試験形式は、協会にご確認ください。

1 製作等作業試験

受検者に材料等を提供、貸与等して実際に物を製作、組立て、調整等の作業を行わせることにより技能の程度を評価します。

2 判断等試験

受検者に対象物又は現場の状態、状況等を原材料、標本、模型、写真、ビデオ等を用いて提示し、判別、判断、測定等を行わせることにより技能の程度を評価します。

3 計画立案等作業試験

受検者に現場における実際的な課題等を、紙面を用いて、表、グラフ、図面、文書等によって提示し、計算、計画立案、予測等を行わせることにより技能の程度を評価します。

■試験会場選定と準備について

1. 会場準備は、できるだけ試験前日までに行うようにしてください。
2. 会場の入口には、「技能検定実技試験会場・関係者以外立ち入り禁止」等の掲示をしてください。
※関係者とは、検定委員・補佐員・協会職員・受検者です。
3. 「実技試験実施要領」に記載されている「設備基準」に基づく試験用材料、採点用器工具等を準備して下さい。また、救急箱、受検者への説明用の黒板等を準備してください。（P10参照）

4. 試験会場は、同一条件で受検できるように配慮してください。



5. 新型コロナウイルス感染症対策を行ってください（P13参照）

■受検者への注意事項について

1. 受検票、実技試験問題（当該年度ののものに限る。コピーしたものや過去問題は使用できません。）を持参してください。
2. 実技試験問題に記載されている、「受検者が準備する物」の規格や数量を確認して準備してください。
3. 試験中は、携帯電話（電卓機能の使用も含む）等の使用は禁止です。
4. 試験は、全て日本語で行います。質問等がある場合は、日本語で質問してください。

■監理団体及び受入企業の担当者等への注意事項について

1. 試験中に手を貸したり、合図をしたりすることは不正行為となりますのでご注意ください。
2. 試験は、全て日本語で行います。試験に関する注意事項等を含め通訳を介して、会話することは禁止です。
3. 試験中は、試験区画に立ち入ることはできませんので、試験区画から離れた場所で待機してください。
4. 動画及び静止画を撮影することは、禁止とします。

出張試験方式の会場準備品

- ① 「実技試験実施要領」から以下のものを会場で準備してください。
 - (1) 支給材料（「採点基準」を参照することと指示してある、または、試験実施運営上、検定秘に係る材料や設備等については、当協会より試験当日に、持ち込みます。ご不明な点等あれば、事前にご連絡ください。）
 - (2) 試験用設備（機械設備、工具等。また、会場は、天候等により左右されない場所を選定ください。）
 - (3) 採点用設備（「採点基準」を参照することと指示してある材料や設備等については、検定秘につき当協会より試験当日に、持ち込みます。ご不明な点等あれば、事前にご連絡ください。検定秘とならない採点工具類は必ず試験会場において準備してください。）
- ② 「実技試験問題」から以下のものを会場で準備してください。
 - (1) 支給材料
 - (2) 受検者が準備するもの
 - (3) 試験場に準備されているもの

※上記(1)(2)(3)は、人数分ご用意ください。用意が難しい場合は、協会へ早めにご連絡ください。
- ③ その他
 - (1) 受検票
 - (2) 時計
 - (3) 救急箱
 - (4) ホワイトボード・マーカー等
 - (5) 机・いす（2脚程度）
 - (6) 筆記用具（学科試験にて使用）

※支給材料等は、実技試験実施要領及び問題に記載されている指定の規格・寸法のもの以外使用できません。

※試験で使用する材料・工具等は貸し借りが出来ませんので受検者人数分をご用意ください。

集合方式試験の準備物 実技試験会場が当協会及び駒越会場・焼津市小川公民館などの場合

- (1) 受検者が準備するもの（実技試験問題、実施要領に記載されています。）
- (2) 受検票
- (3) 筆記用具（学科試験にて使用）

工具類の受検者間での貸し借りは試験中できませんので必ず受検者人数分をご用意ください。

【学科試験について】

■試験会場選定について

1. 会場準備は、できるだけ試験前日までに行うようにしてください。
2. 会場の入口には、「技能検定学科試験会場・受検者以外立ち入り禁止」等の掲示をしてください。
※関係者とは、検定委員・協会職員・受検者です。
3. 受検者への説明用の黒板等を準備してください。
4. 試験問題を読み上げる関係上、隔離された部屋を設定してください。

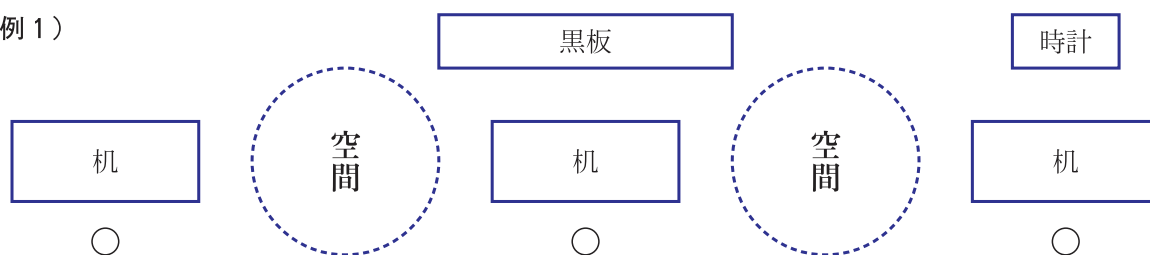
（壁面の上部が塞がれていない部屋等は不可です。）

会議室・食堂等での実施も可能ですが、試験時間内は、受検者以外の出入りは禁止となりますので、事前にその旨を社内周知してください。（カメラ等が設置されている場所は避けてください。）

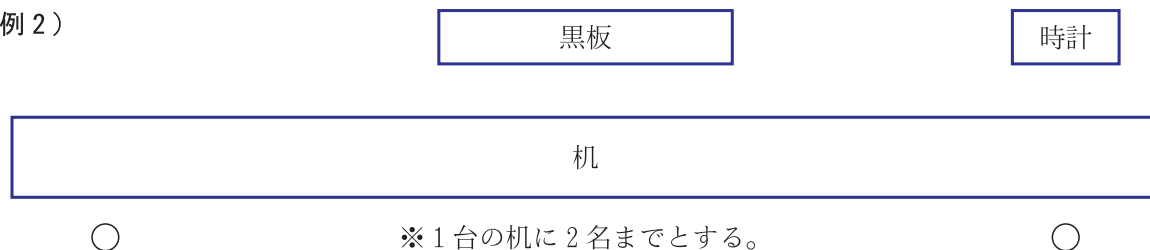
また、試験進行状況によっては、試験時間が昼食休憩時間等に係る可能性があるので、食堂等を試験会場とする場合は、十分に留意してください。

5. 新型コロナウイルス感染症対策を行ってください（P13参照）

（例1）



（例2）



※1台の机に2名までとする。

※上記要件を満たせない場合は、事前にご連絡ください。

当協会の会議室で受検していただきます。日程等は後日調整して決定します。

※試験当日に、上記の要件を満たせていないと判断した場合は、学科試験を実施せずに、後日当協会の会議室で受検していただきます。日程等は後日調整して決定します。

■受検者への注意事項について

1. 受検票と筆記用具（鉛筆・消しゴム）のみ使用可能です。
2. 試験当日配布する試験問題は、試験開始の合図があるまで表紙を開けてはいけません。
3. 試験問題、答案用紙は持ち帰ることができません。（全て回収します。）
4. 試験問題の読み上げ希望があれば実施します。1問につき、2度ずつ読み上げます。

但し、随時2級の読み上げはありません。

試験問題の読み上げの希望の有無（全受検者で統一）を確認してください。（随時3級・基礎級）

5. 解答方法について

随時3級・基礎級は、真偽法（正しいか又は誤りかを回答する）のみです。

①答えが正しいと思う場合は、正しいの欄に「○」を書く。

②答えが誤りと思う場合は、誤りの欄に「○」を書く。

随時2級は、真偽法と多肢択一法（正解と思うものを1つだけ選んで解答する）の併用です。

6. 試験中に、分からないことがあったら手を挙げて係員に聞くことができますが、問題に関わることや日本語の意味を答えることはできません。また、日本語以外での発言は禁止です。
7. 試験時間は、随時3級及び基礎級が1時間、随時2級が1時間40分です。

開始から30分が経過するまでは、解答が出来ても退室することはできません。

30分経過以降は、解答が出来あがった場合、黙って手を挙げて係員の指示に従ってください。その後、退室することができます。

8. 試験中に、隣の人の答案を見たり、受検態度が悪かったり、他の受検者の迷惑になるような行為をしたときは、不正行為として失格となり退場してもらいます。

また、試験問題を他の物に書き写すことも不正行為となります。

■監理団体及び受入企業の担当者等への注意事項

試験中は、試験会場から離れた場所で待機してください。

試験室内に、録音媒体等を設置することは、不正行為とみなされます。

また、試験実施中に、不正に試験問題内容入手することは、不正行為とみなされます。

③新型コロナウイルス感染症対策における受検上の注意事項（2023. 5. 1～）

1. 試験会場の入口及び施設内に、石けん及び消毒用アルコールを設置する等、手指の衛生を保つことができる環境を整備してください。（試験が企業会場の場合のみ）
2. 適切な環境維持のため試験会場の換気を心掛けるとともに、空調や衣服による温度調節を含めて湿度、温度の管理に努めること。試験中においても、試験の実施に支障が生じない範囲で換気に努めることとし、必要に応じ「感染拡大防止のための効果的な換気について」（令和4年7月14日付、新型コロナウイルス感染症対策分科会）も参考にすること。（試験が企業会場の場合のみ）
3. 試験の配席・配置に当たっては、必要な間隔を取るよう配席・配置を行うこと。
4. 実技試験において共用する機器については、原則として受検者が使用するたびに消毒してください。
5. 試験会場内の休憩スペース、食事スペース等において人が密集することがないように、一度に使用する人数を減らし、相互に間隔を取る等の措置を行ってください。（試験が企業会場の場合のみ）
6. 試験会場内での入室、退室を一斉にしないよう、あらかじめ周知しておいてください。
7. 試験日前に発熱等の症状がある場合や、新型コロナウイルスに感染又は、濃厚接触者に該当する等で試験日当日が療養期間中の方は受検を自粛していただく場合があります。
8. マスクの着用等については、個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねることを基本としますが、感染対策上又は試験実施上の理由等により必要がある場合においては、受検者又は同席者にマスクの着用を求める場合があります。
※試験上関係のない私語は控えてください。
9. 試験日前後に新型コロナウイルス感染症の疑いが発覚した場合は早急にご連絡ください。
10. 試験前日夜、土曜日、日曜日、祝日に新型コロナウイルス感染症の発症や疑いが発生した場合は、FAX（054-345-2397）又は、メール（shizuoka@shivada.com）にて連絡をお願いします。直近の試験に関係する場合は電話連絡も併せてお願いします。試験日当日の連絡については、どんな場合でも欠席扱いとなりますのでご注意ください。
11. 以上の内容を試験関係者（監理団体、企業、受検者等）の皆様にはご理解くださるようお願いいたします。またご不明点等あればご連絡ください。

静岡県職業能力開発協会

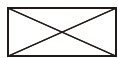
TEL 054-345-9377

④ 別表 公示状況及び試験方式一覧

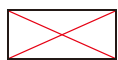
職 種 名 (作 業 名)	基礎級	随時 3 級	随時 2 級
さく井 (パーカッション式さく井工事作業)	協会指定会場	協会指定会場	協会指定会場
さく井 (ロータリー式さく井工事作業)	協会指定会場	協会指定会場	協会指定会場
鋳造(鉄鋳物鋳造作業)			
鋳造(非鉄金属鋳物鋳造作業)			●
鍛造 (ハンマ型鍛造作業)			
鍛造 (プレス型鍛造作業)			
機械加工 (普通旋盤作業)			●
機械加工 (数値制御旋盤作業)			
機械加工 (フライス盤作業)			
機械加工 (マシニングセンタ作業)	●	●	●
金属プレス加工 (金属プレス作業)			●
鉄工(構造物鉄工作業)			●
建築板金 (内外装板金作業)		●	●
建築板金 (ダクト板金作業)			
工場板金(機械板金作業)			
めっき (電気めっき作業)		●	
めっき (溶融亜鉛めっき作業)			
アルミニウム陽極酸化処理(陽極酸化処理作業)		●	
仕上げ(治工具仕上げ作業)		●	
仕上げ(金型仕上げ作業)		●	
仕上げ(機械組立仕上げ作業)		●	
機械検査 (機械検査作業)	協会指定会場	協会指定会場	協会指定会場
ダイカスト (ホットチャンバダイカスト作業)			
ダイカスト (コールドチャンバダイカスト作業)			
電子機器組立て (電子機器組立て作業)	協会指定会場	協会指定会場	協会指定会場
電気機器組立て (回転電機組立て作業)			
電気機器組立て (変圧器組立て作業)			
電気機器組立て (配電盤・制御盤組立て作業)			
電気機器組立て (開閉制御器具組立て作業)			
電気機器組立て (回転電機巻線製作作業)			
プリント配線板製造 (プリント配線板設計作業)			
プリント配線板製造 (プリント配線板製作作業)	協会指定会場	協会指定会場	協会指定会場
冷凍空気調和機器施工(冷凍空気調和機器施工作業)			

職 種 名 (作 業 名)	基礎級	随時 3 級	随時 2 級
染色 (糸浸染作業)			
染色 (織物・ニット浸染作業)		●	●
ニット製品製造 (丸編みニット製造作業)			
ニット製品製造 (靴下製造作業)			
婦人子供服製造(婦人子供既製服縫製作業)			
紳士服製造(紳士既製服製造作業)			
寝具製作(寝具製作作業)			
帆布製品製造(帆布製品製造作業)			
布はく縫製(ワイシャツ製造作業)			
家具製作 (家具手加工作業)			
建具製作(木製建具手加工作業)			●
紙器・段ボール箱製造(印刷箱打抜き作業)			
紙器・段ボール箱製造(印刷箱製箱作業)	※協会指定会場		
紙器・段ボール箱製造(貼箱製造作業)	※協会指定会場		
紙器・段ボール箱製造(段ボール箱製造作業)	※協会指定会場		
印刷(オフセット印刷作業)		▲	▲
製本 (製本作業)	※協会指定会場		
プラスチック成形(圧縮成形作業)	協会指定会場	●	
プラスチック成形(射出成形作業)	協会指定会場	★●	★●
プラスチック成形(インフレーション成形作業)			
プラスチック成形(ブロー成形作業)	協会指定会場	●	
強化プラスチック成形(手積み積層成形作業)			
石材施工 (石材加工作業)			
石材施工 (石張り作業)			●
パン製造 (パン製造作業)			
ハム・ソーセージ・ベーコン製造 (ハム・ソーセージ・ベーコン製造作業)		●	
水産練り製造(かまぼこ製品製造作業)	協会指定会場	協会指定会場	
建築大工 (大工工事作業)	協会指定会場	協会指定会場	●※協会指定会場
かわらぶき (かわらぶき作業)			
とび(とび作業)	協会指定会場	協会指定会場	協会指定会場
左官 (左官作業)			
築炉(築炉作業)			
タイル張り(タイル張り作業)			
配管 (建築配管作業)			
配管 (プラント配管作業)			
型枠施工(型枠工事作業)	協会指定会場	協会指定会場	協会指定会場

職 種 名 (作 業 名)	基礎級	随時 3 級	随時 2 級
鉄筋施工(鉄筋組立て作業)	協会指定会場	協会指定会場	●※協会指定会場
コンクリート圧送施工(コンクリート圧送工事作業)		協会指定会場	協会指定会場
防水施工(シーリング防水作業)			
内装仕上げ施工(プラスチック床仕上げ工事作業)			
内装仕上げ施工(カーペット床仕上げ工事作業)			
内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業)			
内装仕上げ施工(ボード仕上げ工事作業)			
内装仕上げ施工(カーテン工事作業)			
熱絶縁施工(保温保冷工事作業)			●
サッシ施工 (ビル用サッシ施工作業)			●
ウェルポイント施工(ウェルポイント工事作業)			
表装 (壁装作業)			
塗装 (建築塗装作業)	協会指定会場	協会指定会場	●
塗装 (金属塗装作業)	協会指定会場	協会指定会場	●
塗装 (鋼橋塗装作業)			●
塗装 (噴霧塗装作業)	協会指定会場	協会指定会場	
工業包装(工業包装作業)	協会指定会場	※協会指定会場	



：静岡県非公示



：本年度は非公示となります。

※令和 7 年度（前期）の定期試験受付は 4 月 7 日（月）～ 4 月 18 日（金）のみとなりますので定期試験の受検希望者は当協会のホームページにて定期試験の申請方法をご確認のうえ手続きをお願いします。

（定期試験は 1、2 級は年 1 回となります。）

「協会指定会場」：当協会指定会場で集合試験方式にて実施。「FAX 送信あんない」にて確認をお願いします。

「※協会指定会場」：受検者人数等により協会指定会場・企業どちらかの会場となります。「FAX 送信あんない」にて通知させていただきます。

「★」：初めて実施する会場または、以前実施した時と射出成形機に変更がある会場については、「試験設備の下見（確認）」を行います。

詳細は、試験会場チェックシートを確認し、指定期日までにご返送ください。

「▲」：初めて実施する会場または、以前実施した時と設備環境に変更がある会場については、「試験設備の下見（確認）」を行います。日程については、当協会よりお知らせいたします。

「●」：検定秘に係る支給材料や採点工具等があります。該当する資機材は、当日協会が持ち込みます。また、当協会が持ち込む物以外は、受入企業等で準備してください。（P10 参照）ご不明点等あれば連絡ください。



：空欄は受入企業等で実施。※会場設営等については、P10 の青枠を要確認ください。



：免許や特別教育受講終了証（写し可）等が必要な職種（作業）です。

詳細は P 6 「技能検定試験において免許、特別教育等が必要な職種（作業）一覧」参照

⑤ 中央幹旋材料等一覧（各種申込用紙等）

令和7年度 随時2・3級・基礎級 中央幹旋材料等一覧

職種名等	等級	幹旋材料等	留意事項等	幹旋先	
F3 鋳造 (鋳鉄鋳物鋳造作業)	随時2級	アルミ型	試験実施日より1か月前までに申し込んでください。 別途申込書により注文してください。 ※基礎級の型については幹旋はしていません。	一般社団法人日本鋳造協会 担当 総務グループ	〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館501号室 TEL 03-3432-2991 FAX 03-3433-7498
F3・4 鋳造 (鋳鉄鋳物鋳造作業) (非鉄金属鋳物鋳造作業)	随時3級	樹脂型	試験実施日より1か月前までに申し込んでください。 別途申込書により注文してください。 ※基礎級の型については幹旋はしていません。		
F17 めっき (電気めっき作業)	随時2級 随時3級	銅板	試験実施日より2～1か月前までに申し込んでください。 別途申込書により注文してください。	東京都鍍金工業組合 担当 宮部 氏	〒113-0034 東京都文京区湯島1-11-10 TEL 03-3814-5621 FAX 03-3816-6166
FK19 アルミニウム陽極酸化処理 (陽極酸化処理作業)	随時2級 随時3級 基礎級	支給材料	別途申込書により注文してください。	株式会社 アルミ表面技術研究所 検定教育部 担当 遠藤 氏	〒302-0034 茨城県取手市戸頭9-18-3 TEL 0297-78-2541 FAX 0297-78-2278
	随時2級 随時3級 基礎級		試験場の相談に応じます。	株式会社 アルミ表面技術研究所 検定教育部 担当 遠藤 氏	〒302-0034 茨城県取手市戸頭9-18-3 TEL 0297-78-2541 FAX 0297-78-2278
FK26 電子機器組立て (電子機器組立て作業)	随時3級 基礎級	支給材料	試験実施日の3週間前までにネット通販サイトでご注文ください。(1週間に以内に宅郵便でお届け。)支払は、代金引換、クレジットカード、銀行振込(前払い)など。 申し込み形態は以下のとおり。 <基礎級> Aセット 支給材料一式(1セット5回分) Bセット 支給材料のうちプリント配線板のみ(5枚単位) <随時3級> M2404-A 支給材料一式(1セット1回分) M2404-B 消耗品セット(1回分単位) ※電子部品については製造中止になった場合等、相当品に変更することがあります。	株式会社三機 インターネット販売部門	〒456-0035 愛知県名古屋市中熱田区白鳥1-4-1 TEL 052-681-2163 e-mail : e-monozo@sanki1948.com http://www.e-monozo.com/ (ネット通販サイト:モノづくり支援サイト・モノ蔵)
F39 婦人子供服製造 (婦人子供既製服縫製作業)	随時2級	材料(表生地)	発送は、ゴールデンウィーク、年末年始を除き、お申し込み後1週間から10日程度必要です。 別途ご注文書により注文してください。	アパレル・ソーイング協同組合連合会 担当 事務局長 吉田氏	〒113-0021 東京都文京区本駒込6-2-19 TEL 03-5981-8968 FAX 03-5981-8284
F39 婦人子供服製造 (婦人子供既製服縫製作業)	随時3級	材料(表生地)			
K39 婦人子供服製造 (婦人子供既製服縫製作業)	基礎級	シート			

職種名等	等級	幹旋材料等	留意事項等	幹旋先	
F46 紙器・段ボール箱製造 (印刷箱打抜き作業)	随時2級	抜型、抜型製作用 フィルム、打ち抜き 用紙	試験実施日より1か月前までに申し込んでください。 別途申込書により注文してください。	全日本紙器段ボール箱工 業組合連合会 担当 紫藤 氏	〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-2-4 第6高輪ビル301号 TEL 03-3552-6531 FAX 03-3552-6532
FK46 紙器・段ボール箱製造 (印刷箱打抜き作業)	随時3級 基礎級	支給材料			
F47 紙器・段ボール箱製造 (印刷箱製箱作業)	随時2級	生地			
FK47 紙器・段ボール箱製造 (印刷箱製箱作業)	随時3級 基礎級	支給材料			
F48 紙器・段ボール箱製造 (貼箱製造作業)	随時2級	身・ふた生地、くるみ 紙			
FK48 紙器・段ボール箱製造 (貼箱製造作業)	随時3級 基礎級	支給材料			
F49 紙器・段ボール箱製造 (段ボール箱製造作業)	随時2級	印版			
FK49 紙器・段ボール箱製造 (段ボール箱製造作業)	随時3級 基礎級	支給材料	試験実施日より1か月前までに申し込んでください。 別途ご注文書により注文してください。	全日本プラスチック製品工 業連合会	〒104-0045 東京都中央区築地3-12-5 東日本プラスチック製品工業協会 TEL 03-3541-4321 FAX 03-3541-4324
K52 プラスチック成形 (圧縮成形作業)	基礎級	測定用成形品			
FK53 プラスチック成形 (射出成形作業)	随時2級 随時3級 基礎級	測定用成形品			
FK55 プラスチック成形 (ブロー成形作業)	随時3級 基礎級	測定用成形品	試験実施日より2か月半前までに申し込んでください。 別途ご注文書により注文してください。	川口板金株式会社 担当 営業担当	〒334-0076 埼玉県川口市本蓮4-2-32 TEL 048-282-0871 FAX 048-283-2660
F59 パン製造 (パン製造作業)	随時2級	食型			
F65 左官 (左官作業)	随時2級	α型既調合薄塗り せっこうプラスター(特 注品：白色)	別途申込書により申し込んでください。 なお、以下の通り、特にご留意ください。 ① 試験材料の申込みは、納品まで1週間～1ヶ月程 度を要するので早めに申し込んでください。 (一度FAXやメールで注文を行った場合、注文用紙 の原本の送付は不要です。2重手配の防止のため) ② 至急・早め等の具体的な納品日の記入がない場合 や漏れがある場合には、手配を行いません。また、ごち らから連絡も行いませんのでご了承願います。 ③ 日曜日及び祝日の納品は出来ません。(納品希望 日が日曜日等の納品が出来ない日を指定された場 合には、翌日以降の平日もしくは土曜日の配送日に 自動的に変えさせていただきます。) ④ 試験材料の送料につきましては、元払いのみとなりま す。それ以外の方法は引き受けできませんのでご注意 ください。 ⑤ 試験材料費及び送料の請求書は、後日別便で送 付いたしますので、受け取り後、代金から振込手数料 を差し引かず1週間以内にお支払いください。 ⑥ 試験材料の申し込み数は、できる限り都道府県単位 でまとめてお申し込みください。	一般社団法人日本左官 業組合連合会	〒162-0841 東京都新宿区払方町25-3 TEL 03-3269-0560 FAX 03-3269-3219 Email : sakan@jeans.ocn.ne.jp

職種名等	等級	斡旋材料等	留意事項等	斡旋先	
FK73 防水施工 (シーリング防水工事業)	随時2級 随時3級 基礎級	支給材料 試験架台	試験実施日より1か月半前までに電話で申し込んでください。	日本シーリング工事業協同 組合連合会 担当 柴田 氏	〒135-0034 江東区永代2丁目33-6 有沢ビル2F TEL 03-3643-7901
F82 表装 (壁装作業)	随時2級	支給材料	試験実施日より2か月程度前までに申し込んでください。 別途申込書により注文してください。	ルノン株式会社 担当 秋本 氏	〒143-0001 東京都大田区東海 1-3-6 プロロジスパーク東京大田N棟2階 TEL 03-6757-3425 FAX 03-5755-1688

令和 7 年度技能検定

随時 2 級 鋳造(鋳鉄鋳物鋳造作業)中央幹旋(実技試験アルミ型)申込書

項 目	記 入 欄
1. 申込数	随時2級 個 (1個 135,300円(税込み・送料別))
2. 入手希望日	令和 年 月 日
3. 申込者(代金支払者) 所在地 名称、所属部署 氏 名 T E L	〒
4. 送付先 所在地 名称、所属部署 氏 名 T E L	〒
5. 支払方法	現金書留 銀行振込 (該当するものを○で囲むこと。)
備 考	

上記のとおり申込みをいたします。

令和 年 月 日

一般社団法人 日本鋳造協会 御中

(申込者)

_____ 印

-
1. 申込・問合せ先 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館501号室
 一般社団法人 日本鋳造協会
 担当者 総務グループ TEL 03-3432-2991 FAX 03-3433-7498
2. 申込締切日 受検実施日の1ヶ月前
 入手希望日に添えない場合もごございますので、必ず事前にお問い合わせください。
3. 支払方法 納品後に請求書を送付させていただきます。

令和 7 年度技能検定

随時 3 級 鋳造(鋳鉄鋳物・非鉄金属鋳物鋳造作業)中央幹旋(実技試験樹脂型)申込書

項 目	記 入 欄
1. 申込数	随時3級 個 (1個 45,100円(税込み・送料別))
2. 入手希望日	令和 年 月 日
3. 申込者(代金支払者) 所在地 名称、所属部署 氏 名 T E L	〒
4. 送付先 所在地 名称、所属部署 氏 名 T E L	〒
5. 支払方法	現金書留 銀行振込 (該当するものを○で囲むこと。)
備 考	

上記のとおり申込みをいたします。

令和 年 月 日

一般社団法人 日本鋳造協会 御中

(申込者)

印

-
1. 申込・問合せ先 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館501号室
 一般社団法人 日本鋳造協会
 担当者 総務グループ TEL 03-3432-2991 FAX 03-3433-7498
2. 申込締切日 受検実施日の1ヶ月前
 入手希望日に添えない場合もございますので、必ず事前にお問い合わせください。
3. 支払方法 納品後に請求書を送付させていただきます。

令和 7 年度技能検定

随時 2・3 級 めっき(電気めっき作業)中央幹旋申込書(鋼板)・練習用

1 材 料 等

区分	級別	品名	単価(税込)	申込数(B欄)	備考
製作等 作業試験	随時2級	鋼板 2枚 1組	4,400円		
	随時3級	鋼板 2枚 1組	4,400円		

(注)

- 1 申込数(B欄)は、練習用として必要とする場合に、必要組数を記入してください。
- 2 練習用材料の形状寸法は、すべて同一です。

2 送 付 先 等

入手希望年月日	令和 年 月 日
送付先の所在地、名称、 担当課、担当者、TEL	
請求先の所在地、名称、 担当課、担当者、TEL	
連絡先の所在地、名称、 担当課、担当者、TEL	
代 金 支 払 方 法	現金書留 ・ 銀行振込 (該当するものを○で囲むこと。)
備 考	

上記のとおり申込みをいたします。

令和 年 月 日
東京都鍍金工業組合 御中

(申込者)

印

----- 切取線 -----

(注)

- 1 申込先
〒113-0034 東京都文京区湯島1丁目11番10号
東京都鍍金工業組合 担当者 宮部 氏
TEL 03-3814-5621 FAX 03-3816-6166
- 2 申込締切期日 試験実施の2～1ヶ月前まで 厳守お願いします。
なお、試料の発送は、申し込みいただいてから概ね1ヶ月後になります。
- 3 送料は別途請求させていただきます。

令和 7 年度技能検定

随時 2 級・随時 3 級・基礎級アルミニウム陽極酸化処理(陽極酸化処理作業)中央幹旋申込書

級	課題別	品名	申込数	備 考
随時2	問題1	板曲材P	個	
		絞り材R	個	
随時3	作業1	板曲材A	個	
基礎	—	板 材 K	個	

※ 試験材の単価については、株式会社 アルミ表面技術研究所 に問い合わせてください。消費税・送料は別途かかります。

納品希望年月日	令和 年 月 日 (注)試験材発注から納品まで45日を要します。
送付先の所在地 名称 担当部署、担当者名 電話・FAX	
請求先の所在地 名称 担当部署、担当者名 電話・FAX	
代金支払方法	銀行振込
備考	

上記のとおり申込みをいたします。

令和 年 月 日

株式会社 アルミ表面技術研究所 検定教育部 御中

(申込者)

印

-----切取線-----

1. 申込先 〒302-0034 茨城県取手市戸頭9-18-3
株式会社 アルミ表面技術研究所 検定教育部
担当：遠藤 氏 TEL 0297-78-2541 FAX 0297-78-2278
2. 支払い方法 発注、納期、輸送方法、代金決済方法等の詳細は、直接、株式会社 アルミ表面技術研究所の担当者と打ち合わせてください。

令和 7 年度技能検定
基礎級、随時3級、随時2級 婦人子供服製造(婦人子供既製服縫製作業)
基礎級 紳士服製造(紳士既製服縫製作業)、布はく縫製(ワイシャツ縫製作業)
中央幹旋申込書

シートの内容	ご注文数	配達指定
①基礎級婦人子供服製造用 検定シート (1 袋、各 10 枚入り)	袋	・至急便 (日迄) ・普通便
②基礎級紳士服製造用 検定シート (1 袋、各 10 枚入り)	袋	・至急便 (日迄) ・普通便
③基礎級布はく縫製用 検定シート (1 袋、各 10 枚入り)	袋	・至急便 (日迄) ・普通便
④ 5 種類入り訓練シート (1 袋、各 10 枚入り)	袋	・至急便 (日迄) ・普通便
⑤随時 3 級婦人子供服製造用 検定用表生地 (検定 1 着分)	袋	・至急便 (日迄) ・普通便
⑥随時 2 級婦人子供服製造用 検定用表生地 (検定 2 着分)	袋	・至急便 (日迄) ・普通便

令和 年 月 日

◎発注者

企業・団体名

住 所 〒

電話番号

FAX 番号

メールアドレス

担当者

※代引きでお願いしております関係上、送付先が上記、発注者と異なる場合は下記にご記入ください。

送付先の企業・団体名

// 住所 〒

// 電話番号

FAX 番号

// 担当者

メールアドレス

◎ご請求書の請求先

訓練用・検定用シートの販売体系について

1. 訓練用・検定用シート

①基礎級婦人子供服製造用検定シート

- ・ 1 袋（販売単位）の内容

- シート 1 10 枚

- シート 3 10 枚

- シート B 10 枚

- シート A（練習用） 10 枚

- ・ 税込み価格 5,390 円／1 袋 （送料別途）

②基礎級紳士服製造用検定シート

- ・ 1 袋（販売単位）の内容

- シート 1 10 枚

- シート 3 10 枚

- シート B 10 枚

- シート A（練習用） 10 枚

- ・ 税込み価格 5,390 円／1 袋 （送料別途）

③基礎級布はく縫製用検定シート

- ・ 1 袋（販売単位）の内容

- シート 1 10 枚

- シート 2 10 枚

- シート A（練習用） 10 枚

- ・ 税込み価格 4,620 円／1 袋 （送料別途）

④5種類入り訓練シート

- ・ 1 袋（販売単位）の内容

- シート 1 10 枚

- シート 2 10 枚

- シート 3 10 枚

- シート B 10 枚

- シート A 10 枚

- ・ 税込み価格 6,270 円／1 袋 （送料別途）

⑤随時 3 級婦人子供服製造用表生地

- ・ 材料の規格等

- 綿 100% 巾 1.1m × 長さ 2.25m（柄あり）

- ・ 税込み価格 2,970 円／1 着 （送料別途）

⑥随時 2 級婦人子供服製造用表生地

- ・ 材料の規格等

- 綿 100% 巾 1.12m × 長さ 4.5m（柄あり）

- ・ 税込み価格 5,720 円／2 着 （送料別途）検定受検者 1 人 = 2 着

※ 代引きでお願いしております。

※ 上記価格は、令和 7 年 4 月 1 日（火）注文分からの価格となります。

アパレル・ソーイング協同組合連合会

〒113-0021 東京都文京区本駒込 6-2-19

電話 03 (5981) 8968 ファックス 03 (5981) 8284

令和 7 年度技能検定
随時 2 級 紙器・段ボール箱製造(印刷箱打抜き作業)中央幹旋申込書

下記のとおり申込みをいたします。

令和 年 月 日

全日本紙器段ボール箱工業組合連合会 御中

(申込者)

_____ 印

1 材料等

品 名	規 格	数 量	備 考	申込数
抜き型		1		
打抜き用紙	印刷したもの	110	調整用 10 枚、作業用 100 枚	セット

2 送付先等

	所在地	名称	担当者名	TEL・FAX
連絡先	〒			TEL
				FAX
送付先	〒			TEL
				FAX
請求先	〒			TEL
				FAX
試験予定日		令和 年 月 日（ ）		

----- 切り取り線 -----

- 1 申込先

全日本紙器段ボール箱工業組合連合会
〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-2-4 第6高輪ビル301号
TEL.03-3552-6531 FAX.03-3552-6532
- 2 申込み締切日

試験予定日の1ヶ月前

令和 7 年度技能検定
随時 3 級 紙器・段ボール箱製造(印刷箱打抜き作業)中央幹旋申込書

下記のとおり申込みをいたします。

令和 年 月 日

全日本紙器段ボール箱工業組合連合会 御中

(申込者)

_____ 印

1 材料等

品 名	規 格	数 量	備 考	申込数
打抜き加工済み台紙		110 シート	作業用 100 シート、 予備 10 シート	セット
段ボール		1		セット
ラベル、仕切り		各 1		セット

2 送付先等

	所在地	名称	担当者名	TEL・FAX
連絡先	〒			TEL
				FAX
送付先	〒			TEL
				FAX
請求先	〒			TEL
				FAX
試験予定日		令和 年 月 日（ ）		

----- 切り取り線 -----

- 1 申込先

全日本紙器段ボール箱工業組合連合会
〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-2-4 第6高輪ビル301号
TEL.03-3552-6531 FAX.03-3552-6532
- 2 申込み締切日

試験予定日の1ヶ月前

令和 7 年度技能検定
基礎級 紙器・段ボール箱製造(印刷箱打抜き作業)中央幹旋申込書

下記のとおり申込みをいたします。

令和 年 月 日

全日本紙器段ボール箱工業組合連合会 御中

(申込者)

_____ 印

1 材料等

品 名	規 格	数 量	備 考	申込数
打抜き加工済み台紙		各 310	身と蓋のセット 作業用 300 枚、予備 10 枚	セット
ラベル		6		セット
クラフト紙		6		セット

2 送付先等

	所在地	名称	担当者名	TEL・FAX
連絡先	〒			TEL
				FAX
送付先	〒			TEL
				FAX
請求先	〒			TEL
				FAX
試験予定日		令和 年 月 日（ ）		

----- 切り取り線 -----

- 1 申込先

全日本紙器段ボール箱工業組合連合会
〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-2-4 第6高輪ビル301号
TEL.03-3552-6531 FAX.03-3552-6532
- 2 申込み締切日

試験予定日の1ヶ月前

令和 7 年度技能検定
随時 2 級 紙器・段ボール箱製造(印刷箱製箱作業)中央幹旋申込書

下記のとおり申込みをいたします。

令和 年 月 日

全日本紙器段ボール箱工業組合連合会 御中

(申込者)

_____ 印

1 材料等

品 名	規 格	数 量	備 考	申込数
生地	印刷して打ち抜いたもの	370 枚	調整用 10 枚、作業用 360 枚	セット

2 送付先等

	所在地	名称	担当者名	TEL・FAX
連絡先	〒			TEL
				FAX
送付先	〒			TEL
				FAX
請求先	〒			TEL
				FAX
試験予定日		令和 年 月 日（ ）		

----- 切取り線 -----

- 1 申込先

全日本紙器段ボール箱工業組合連合会
〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-2-4 第6高輪ビル301号
TEL.03-3552-6531 FAX.03-3552-6532
- 2 申込み締切日

試験予定日の1ヶ月前

令和 7 年度技能検定
随時 3 級 紙器・段ボール箱製造(印刷箱製箱作業)中央幹旋申込書

下記のとおり申込みをいたします。

令和 年 月 日

全日本紙器段ボール箱工業組合連合会 御中

(申込者)

_____ 印

1 材料等

品 名	規 格	数量	備 考	申込数
製箱材料	基礎級と同一	275 枚	作業用 260 枚、調整用 15 枚	セット
段ボール		1	折りたたみであるもの	セット
表示用ラベル		1	文字入り	セット

2 送付先等

	所在地	名称	担当者名	TEL・FAX
連絡先	〒			TEL
				FAX
送付先	〒			TEL
				FAX
請求先	〒			TEL
				FAX
試験予定日		令和 年 月 日（ ）		

----- 切り取り線 -----

- 1 申込先

全日本紙器段ボール箱工業組合連合会
〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-2-4 第6高輪ビル301号
TEL.03-3552-6531 FAX.03-3552-6532
- 2 申込み締切日

試験予定日の 1 ヶ月前

令和 7 年度技能検定
基礎級 紙器・段ボール箱製造(印刷箱製箱作業)中央幹旋申込書

下記のとおり申込みをいたします。

令和 年 月 日

全日本紙器段ボール箱工業組合連合会 御中

(申込者)

_____ 印

1 材料等

品 名	規 格	数 量	備 考	申込数
製箱材料		1050 枚	作業用 1000 枚、予備 50 枚 糊付けされていないもの	セット
段ボール		4	折りたたみであるもの	セット
表示用ラベル		4	文字入り	セット

2 送付先等

	所在地	名称	担当者名	TEL・FAX
連絡先	〒			TEL
				FAX
送付先	〒			TEL
				FAX
請求先	〒			TEL
				FAX
試験予定日		令和 年 月 日（ ）		

----- 切り取り線 -----

- 1 申込先

全日本紙器段ボール箱工業組合連合会
〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-2-4 第6高輪ビル301号
TEL.03-3552-6531 FAX.03-3552-6532
- 2 申込み締切日

試験予定日の1ヶ月前

令和 7 年度技能検定
随時 2 級 紙器・段ボール箱製造(貼箱製造作業)中央幹旋申込書

下記のとおり申込みをいたします。

令和 年 月 日

全日本紙器段ボール箱工業組合連合会 御中

(申込者)

_____ 印

1 材料等

品 名	規 格	数 量	備 考	申 込 数
身・ふた生地	裏白チップ#11(△48 5) L判	10セット	打抜き済	セット
身・ふたくるみ紙	片アート紙(◇73)四六判		打抜き済(印刷入り)	

2 送付先等

	所在地	名称	担当者名	TEL・FAX
連絡先	〒			TEL
				FAX
送付先	〒			TEL
				FAX
請求先	〒			TEL
				FAX
試験予定日		令和 年 月 日（ ）		

----- 切り取り線 -----

- 1 申込先

全日本紙器段ボール箱工業組合連合会
〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-2-4 第6高輪ビル301号
TEL.03-3552-6531 FAX.03-3552-6532
- 2 申込み締切日

試験予定日の1ヶ月前

令和 7 年度技能検定
随時 3 級 紙器・段ボール箱製造(貼箱製造作業)中央幹旋申込書

下記のとおり申込みをいたします。

令和 年 月 日

全日本紙器段ボール箱工業組合連合会 御中

(申込者)

_____ 印

1 材料等

品 名	規 格	数量	備 考	申込数
蓋生地		10	作業用5枚、予備5枚	セット
蓋くるみ紙		10	作業用 5 枚、予備 5 枚	セット
表用ラベル		10	作業用 5 枚、予備 5 枚	セット

2 送付先等

	所在地	名称	担当者名	TEL・FAX
連絡先	〒			TEL
				FAX
送付先	〒			TEL
				FAX
請求先	〒			TEL
				FAX
試験予定日		令和 年 月 日（ ）		

----- 切り取り線 -----

- 1 申込先

全日本紙器段ボール箱工業組合連合会
〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-2-4 第6高輪ビル301号
TEL.03-3552-6531 FAX.03-3552-6532
- 2 申込み締切日

試験予定日の1ヶ月前

令和 7 年度技能検定
基礎級 紙器・段ボール箱製造(貼箱製造作業)中央幹旋申込書

下記のとおり申込みをいたします。

令和 年 月 日

全日本紙器段ボール箱工業組合連合会 御中

(申込者)

_____ 印

1 材料等

品 名	規 格	数量	備 考	申込数
生地台紙		12	作業用10枚、予備2枚	セット
ラベル		12	作業用 10 枚、予備 2 枚	セット

2 送付先等

	所在地	名称	担当者名	TEL・FAX
連絡先	〒			TEL
				FAX
送付先	〒			TEL
				FAX
請求先	〒			TEL
				FAX
試験予定日		令和 年 月 日（ ）		

----- 切り取り線 -----

- 1 申込先

全日本紙器段ボール箱工業組合連合会
〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-2-4 第6高輪ビル301号
TEL.03-3552-6531 FAX.03-3552-6532
- 2 申込み締切日

試験予定日の1ヶ月前

令和 7 年度技能検定
随時 2 級 紙器・段ボール箱製造(段ボール箱製造作業)中央幹旋申込書

申込数 印版 枚 (A、B コース)

申込数 印版 枚 (C コース)

	所在地	名称	担当者名	TEL・FAX
連絡先	〒			TEL
				FAX
送付先	〒			TEL
				FAX
請求先	〒			TEL
				FAX
試験予定日		令和 年 月 日 ()		

上記のとおり申込みをいたします。

令和 年 月 日

全日本紙器段ボール箱工業組合連合会 御中

(申込者)

_____ 印

----- 切取り線 -----

1 申込先 〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-2-4 第6高輪ビル301号

全日本紙器段ボール箱工業組合連合会

TEL.03-3552-6531 FAX.03-3552-6532

2 申込み締切日 試験予定日の1ヶ月前

令和 7 年度技能検定
随時 3 級 紙器・段ボール箱製造(段ボール箱製造作業)中央幹旋申込書

下記のとおり申込みをいたします。

令和 年 月 日

全日本紙器段ボール箱工業組合連合会 御中

(申込者)

_____ 印

1 材料等

品 名	規 格	数 量	備 考	申 込 数
シート		30	溝切り加工済み 作業用20枚、予備10枚	セット

2 送付先等

	所在地	名称	担当者名	TEL・FAX
連絡先	〒			TEL
				FAX
送付先	〒			TEL
				FAX
請求先	〒			TEL
				FAX
試験予定日		令和 年 月 日（ ）		

----- 切り取り線 -----

- 1 申込先

全日本紙器段ボール箱工業組合連合会
〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-2-4 第6高輪ビル301号
TEL.03-3552-6531 FAX.03-3552-6532
- 2 申込み締切日

試験予定日の1ヶ月前

令和 7 年度技能検定
基礎級 紙器・段ボール箱製造(段ボール箱製造作業)中央幹旋申込書

下記のとおり申込みをいたします。

令和 年 月 日

全日本紙器段ボール箱工業組合連合会 御中

(申込者)

_____ 印

1 材料等

品 名	規 格	数 量	備 考	申込数
段ボール箱		5	作業用5枚	セット

2 送付先等

	所在地	名称	担当者名	TEL・FAX
連絡先	〒			TEL
				FAX
送付先	〒			TEL
				FAX
請求先	〒			TEL
				FAX
試験予定日		令和 年 月 日（ ）		

----- 切取り線 -----

- 1 申込先

全日本紙器段ボール箱工業組合連合会
〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-2-4 第6高輪ビル301号
TEL.03-3552-6531 FAX.03-3552-6532
- 2 申込み締切日

試験予定日の1ヶ月前

令和____年____月____日

(FAX 03-3541-4324) (TEL 03-3541-4321)

全日本プラスチック製品工業連合会 御中

令和7年度技能検定
随時2級・随時3級・基礎級 プラスチック成形（圧縮・射出・ブロー成形作業）
幹 旋 材 料 ご 注 文 書

■ご注文にあたっては、下記にご注意ください。

- ① ご注文は、試験日の1ヶ月前までに、必ず本用紙をご使用の上お申し込みください。
- ② 材料は、代金の入金確認後の発送となります。

受検申請先協会（都道府県名をご記入のうえ、都/道/府/県いずれかに○を付けてください）		
都/道/府/県 職業能力開発協会		
材料の種類 (該当する級・作業名 をそれぞれ○で囲む)		個 数
基 礎 級	圧縮（フェノール樹脂）・射出（ABS樹脂）・ブロー（高密度ポリエチレン樹脂）	(受検者1人当たり3個必要) 個
随時3級	射出（ポリスチレン）・ブロー（低密度ポリエチレン樹脂）	(受検者1人当たり1個必要) 個
随時2級	射出（ポリスチレン）	(受検者1人当たり1個必要) 個

【請求書送付先】

協会名又は会社名			
担当者	(役職) (氏名)		
所在地	〒		
電 話		FAX	

【材料送付先】※上記と異なる場合のみご記入ください。

協会名又は会社名			
担当者	(役職) (氏名)		
所在地	〒		
電 話		FAX	

随時 2 級・随時 3 級・基礎級 技能検定 プラスチック成形 (圧縮・射出及びブロー成形作業) に係る支給材料の斡旋について

材料の注文にあたっては下記にご注意ください。

1. 発注期日について

実施要領に記載のとおり、材料は試験実施の1ヶ月前までにお申込みください。試験までの日数が1ヶ月未満の場合、又は代金入金が試験実施日に近い場合、対応できない場合がありますのでご注意ください。

2. 発注方法について

ご注文にあたっては、必ず別紙の様式をご使用の上 **FAX** にてご注文ください。電話のみでの注文は受け付けておりませんのでご注意ください。

また、圧縮・射出及びブロー成形作業では、それぞれ材料の種類が異なります。
注文の際は、お間違えのないようにご注意ください。

3. 材料の発送について

材料の発送は、代金のお入金確認後の翌週となります。注文後に発行される請求書により、速やかにお支払い下さいますようお願いいたします。

なお、1週間経っても請求書が届かない場合は、お手数ですが、ご注文書に「再 **FAX**」と記載の上、再度ご注文ください。

4. 材料の値段について

材料の値段は、圧縮材料は1個 1540 円（消費税込み）、射出材料1個は 440 円（消費税込み）、ブロー材料は1個 550 円（消費税込み）、送料は着払いとなります。

5. 受検される事業所様は、下記もお読みください。

(1) 射出成形作業の試験材料は、1・2級プラスチック成形（射出成形作業）の実技試験で製作した製品を使用することができ、ブロー成形作業の試験材料は、1・2級プラスチック成形（ブロー成形作業）の実技試験で製作した製品を使用することができます。各都道府県の職業能力開発協会が製品を保管している場合がありますので、材料をご注文される前に、受検申請をされた協会に在庫の有無をご確認ください。

(2) 材料の注文先である全日本プラスチック製品工業連合会様では試験の実施方法等に関するお問い合わせに対応することができません。

材料の注文以外の内容につきましては、受検申請をされた各都道府県職業能力開発協会までお問い合わせください。

川口板金株式会社 御中

令和 7 年度技能検定 随時 2 級 パン製造(パン製造作業) ご注文書 (食型)

標記について、下記のとおり申込みますのでよろしくお願い致します。

なお、代金は一括してお支払い致しますので、請求書は申込者宛ご送付ください。

記

納品先名(〒 所在地 会社名)	電話番号	担当者名	納入期日	個 数
※納品先が2か所以上のときは食型の合計数を明示してください。			合計	

請求書送付先及び所在地

(申込者)

所在地

随時2級 技能検定 パン製造（パン製造作業） で使用する食型の斡旋について

「試験場に準備されているもの」に記載されている食型の注文にあたっては、下記にご注意ください。

1. 食型の必要数について

食型の必要数は、受検者1名当たり3個です。

なお、食型は1・2級パン製造（パン製造作業）の実技試験で使用する食型と同じもので、共通して使用することができます。

2. 食型の値段について

食型の値段は、1個1,780円程度で送料・消費税は別になります。詳しくは、ご注文の際に注文先へお問い合わせください。

3. 発注期日について

食型は試験実施日の2ヶ月前までにお申込みください。

食型の注文から納品までの期日は、在庫の関係で前後しますが、1ヶ月から1ヶ月半くらいかかる場合がありますのでご注意ください。

4. 発注方法について

ご注文にあたっては、別紙の様式をご使用の上、下記までFAXにてご注文ください。

なお、申込書には、納品先と請求書の送り先を明示してください。納品先が2か所以上の場合、食型の合計数も明示してください。

（食型の注文先）

川口板金株式会社（担当者 営業担当）

〒334-0076 埼玉県川口市本蓮4-2-32

TEL 048-282-0871 FAX 048-283-2660

5. 受検される事業所様は、下記もお読みください。

食型の注文先である川口板金株式会社様では、試験の実施方法等に関するお問い合わせに対応することができません。

食型の注文以外の内容につきましては、受検申請をされた各都道府県職業能力開発協会までお問い合わせください。

令和7年度技能検定
随時2級 左官(左官作業)中央幹旋申込書

申込日	令和	年	月	日
-----	----	---	---	---

納品先名	郵便番号	〒
	所在地	
連絡先	企業名・団体名等	
	電話番号	— —
	FAX番号	— —
担当者名		
納入希望日		令和 年 月 日
申込み数 *1袋 20kg 入り 1袋 : 7,700 円(税込、送料別)		袋
請求先		

※ 幹旋する材料は、課題 1(塗り壁作業)の第 3 工程で使用する α 型既調合薄塗りせっこうプラスターです。

※ 納品まで 1〜2 週間程度を要するので余裕を持って早めに申し込んでください。(大量の場合は 1 ヶ月程度)

※ 納品希望日は具体的な日程をご記入ください。なお、日曜日及び祝日の納品と、至急・早急等の希望では対応できません。

※ 送料は、材料代と一緒にご請求いたします。また 代金支払いの振込手数料は代金より差引かないでください。

※ 試験材料費及び送料の代金は「請求書」受取り後、速やか(***1 週間以内**)にお支払いください。

※ もれの無い様にご記入ください。もれのあるものは受付できませんのでご了承ください。

上記のとおり申込みをいたします。
一般社団法人 日本左官業組合連合会 御中

申込先
〒162-0841
東京都新宿区払方町25-3
TEL 03-3269-0560
FAX 03-3269-3219
Email : sakan@jeans.ocn.ne.jp



さかん君

*下記、申込者欄へのご記入をお願いします。

<申込者>

都・道
府・県 職業能力開発協会

印

TEL : — —

令和 7 年度技能検定
随時 2 級 表装(壁装作業)中央幹旋申込書

材料送付先所在地(住所等)		
材料送付先名称		
担当者名		
TEL、FAX		
実技試験実施日		月 日～ 月 日
申込数	材料セット	セット(希望納期： 月 日)
請求先名称		
請求書送付先		
担当者名		
代金支払方法		銀行振込 材料発送後、請求書をお送りします。
備考		

上記のとおり申込みいたします。

令和 年 月 日

ルノン株式会社 御中

職業能力開発協会

印

-----切取り線-----

1. 申込先 ルノン株式会社
〒143-0001 東京都大田区東海 1-3-6 プロロジスパーク東京大田 N 棟 2 階
担当者 秋本氏 TEL 03-6757-3425 / FAX 03-5755-1688
※納品まで 1 ヶ月程度を要しますので、早めにお申込みください。
2. 料金 材料一式(税込・送料別。セット内容は、参考 1 のとおり。)
材料セット 18,150 円
※料金につきましては、技能検定試験用価格になり、一般価格ではございません。
3. その他 セット内容は参考 1、送料は参考 2 をご参照ください。
4. 内容、金額は日本人受検者向け 2 級用と同一です。

参考 1

随時2級表装(壁装作業) 材料セット

種類			寸法	数量	メーカー	品番又は規格	備考
A 面	布壁紙	濃色	930×2000	1 枚	ルノン	IZUMI-5104	1 セ ッ ト 2 名 分
		淡色	930×2000	1 枚		IZUMI-5101	
B 面	ビニル 壁紙	柄	930×4000	1 枚		RH-9304	
		無地	930×2000	1 枚		RM-874	
C 面	紙壁紙	a 無地 (暖色)	三・六判	2 枚		銀河 2108	
		b 無地 (寒色)	三・六判	2 枚		銀河 2124	
袋張り(うけ張り)用紙			二・三判	10 枚	シノダ	石州代用 4 匁程度 淡色 上質	
下パテ			—	200g×2 袋	ヤヨイ化学	アタッチ 30	
上パテ			—	150g×2 袋		レベロン 30	
接着剤			1kg／1 名分	2 個／2 名分	ウォール ボンド	みやび糊	1 セ ッ ト 2 名 分
金額(税込) 18,150 円／セット							

- 注 1. 申込みは、セット単位となり、1セットが2名分となります。
2. メーカーからは、申込数分を梱包してお送りいたしますが、1梱包につき、最大4セット(8名分)となります。
3. 上記の金額の他、地域ごとに別表の送料がかかります。
4. パテと接着剤は、壁紙類とは別に発送するため、別途送料がかかります。
- なお、パテと接着剤を同梱してお送りいたします。

参考 2

送 料

都道府県						料金 (税抜き)
北海道						2,400円
青森県	岩手県	秋田県				1,890円
宮城県	山形県	福島県				1,560円
茨城県	栃木県	群馬県	山梨県			1,500円
神奈川県	千葉県	埼玉県				1,450円
東京都						1,400円
新潟県	長野県					1,900円
静岡県						1,700円
岐阜県	愛知県	三重県				1,900円
富山県	石川県	福井県				2,200円
滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	2,200円
鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県		2,400円
徳島県	香川県	愛媛県	高知県			2,400円
福岡県	佐賀県	長崎県	大分県			2,400円
熊本県	宮崎県	鹿児島県				2,500円
沖縄県						5,100円

注 上記の料金は、パテ及び接着剤を除いた材料の1梱包(4セット(8名分)まで)の料金です。パテ及び接着剤の送料については、上記申込先にお問い合わせください。

⑥ 基礎級鑄造（鑄鉄鑄物鑄造・非鑄鉄鑄物鑄造作業）用木型借用書

令和 年 月 日

静岡県職業能力開発協会 様

企業名 _____

担当者 _____ ⑩

住所 _____

TEL _____

下記による、貴協会所有の技能検定試験用器材の借用をお願いいたします。

1 数量 _____ セット

2 借用日 令和 年 月 日 _____

3 返却日 令和 年 月 日 _____

4 受取・返却方法 _____ 宅配便 ・ 来所 _____（○をしてください。）

※宅配便等での搬入・搬出の輸送経費等は、借用者の負担とします。

当協会から送付する際は、宅配便（着払い）とします。

5 経費負担

借用器材を損傷した場合は、原状に復すこと。その際の修復費用は、借用者の負担とします。

6 その他

借用期間中、不具合が発生した場合は、速やかに連絡をします。

返却日 令和 年 月 日 確認者名

⑦ 技能検定試験過去問題コピーサービス

以下の手順により申請をお願いします。

①静岡県職業能力開発協会の HP のメニュー「参考図書案内・コピーサービス」



②指定様式の「随時試験(技能実習生)(様式2)」より印刷し、当協会まで FAX ください。
(054-345-2397)



※時期により内容更新する場合があります。HP にて最新版を確認し申請ください。

随 時 試 験

令和 年 月 日

技能検定試験過去問題コピーサービス希望申請書

※太線枠内をご記入ください※

申請者	会社名 又は 氏 名		
送付先	住 所	〒	
	所 属 / ご担当者名		
	TEL: ()	FAX: ()	
	請求書宛名 ※協会の会員でない方		
	受取方法 ※入金確認後になります	郵送(宅急便)します	

下記の技能検定試験過去問題コピーサービスを希望します

記 号	作 業 名	学 科				実技部数
		級	パターン	部数	合計部数	
(記入例) FK09	機械加工(フライス盤)	基礎	1・2・3・4・5・6・7	各1部	7部	1部
				部	部	部
				部	部	部
				部	部	部
				部	部	部
				総合計部数		部

◆ 協会記入欄 ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆

会員確認	□ 非会員		
学科試験問題	¥500×	部	円
実技試験問題	¥500×	部	円
送 料	10部未満		500円
	10部以上		1000円
請求金額			円

□ 会員
請求なし

受 付

入金確認

発 送

《お問い合わせ先》

〒424-0881 静岡市清水区楠160
静岡県職業能力開発協会 総務課
TEL:054-345-9377

【 お振込口座のご案内 】

静岡銀行 草薙支店
普通預金口座 : 19888
静岡県職業能力開発協会

※支払については振込のみとなります

⑧ 外国人技能検定試験に係る受検申請内容の変更依頼届

※複数企業・複数職種作業になる場合は、コピーして記入等して下さい。

年 月 日

静岡県職業能力開発協会

事前連絡した担当者・受付番号を記入して下さい

事業課 行

担当者 () 受付番号 (-)

下記の内容について、受検申請内容を変更依頼します。

監理団体名			
役 職 担 当 者 名			
T E L			
受入企業名			
役 職 担 当 者 名			
職 種 名		作 業 名	
等 級	随時2級 ・ 随時3級 ・ 基礎級 (○をして下さい)		
依 頼 内 容 (○及び記入を して下さい)	①受検申請取止め (人 → 0 人) ②受検者人数変更 (人 → 人) ③受検区分変更 (A 甲 → A 丙) ④受検区分変更 (A 丙 → A 甲) ⑤受検計画月変更 (月 → 月) ⑥受検作業名変更 (→) ⑦その他 () →詳細を備考欄に記入下さい。		
対 象 者 氏 名 ※4名以上の場合 はコピーして記 入下さい。	氏名 生年月日 ----- 氏名 生年月日 ----- 氏名 生年月日 -----		
受検計画予定月			
備 考			

※上記内容は、必ず外国人技能実習機構にも連絡してください。

ただし、依頼内容「⑤受検計画月変更」については、機構への
連絡は不要です。※シリアルナンバーが変わる場合は連絡ください。

受信日	協会	機構	No.	管理

⑨ 外国人技能検定試験の欠席届

※複数企業・複数職種作業になる場合は、コピーして記入等して下さい。

年 月 日

静岡県職業能力開発協会
事業課 行

事前連絡した担当者・受付番号を記入して下さい
担当者 () 受付番号 (-)

下記の内容について、技能検定試験を欠席します。(受検手数料の返金ができない旨は了承します。)

監理団体名			
役 職 担 当 者 名			
T E L			
受入企業名			
役 職 担 当 者 名			
職 種 名		作 業 名	
等 級	随時2級 ・ 随時3級 ・ 基礎級 (○をして下さい)		
依 頼 内 容 (○及び記入下さい)	①受検全員欠席 (人 → 0 人) ②受検者数変更 (人 → 人) ※受検申請受理後の「欠席」連絡につき、受検手数料返金・申請書返却なし。		
欠 席 理 由			
対 象 者 氏 名 ※4名以上の場 合はコピーして 記入下さい。	氏名 生年月日 ----- 氏名 生年月日 ----- 氏名 生年月日 -----		
試 験 日	年 月 日 () 時 分集合		
備 考	欠席する受検者の技能実習制度運営要領上の受検可能回数にカウント (しない ・ する) ※どちらかに○をして下さい。 ※カウントしない →欠席者は外国人技能実習機構システムの可否欄にキャンセル登録してください。 カウントする →特になし 試験日の再調整は、(必要 or 不要) です。※どちらかに○をして下さい。		

※試験日の再調整が「必要」な場合は、必ず外国人技能実習機構にも受検申請手続きをしてください。
申請書類及び試験手数料は、再度必要になります。

受信日	協会	機構	No.	管理

⑩ よくあるご質問

Q 1. 静岡県外の受入企業所属技能実習生を静岡県で受検申請できますか？

A 1. 現在、受検申請件数が過多の為、県外の受検者の受入が厳しい状況です。その為、他都道府県での受検申請をお願いいたします。

Q 2. 技能検定委員・試験会場は誰が手配しますか？

A 2. 当協会が選任した技能検定委員を派遣します。
試験会場については、P. 9「試験実施についての注意事項」をご確認ください。

Q 3. 試験手数料の返金はできますか？

A 3. 受検申請完了後は、原則返金はいたしません。災害等により試験実施困難となった場合等はご連絡ください。

Q 4. 試験日の変更はできますか？

A 4. 試験日の決定連絡後は、他監理団体・他受入企業等にご迷惑がかかる為、変更することはできません。試験日に受検することができるように、受検申請書類に同封してある“FAX送信あんない”にあらじめ試験実施が困難な日（会社創立記念日や電力供給による休業計画等）がある場合は必要事項を記入してご返信ください。（以前に協会へ伝達した内容であっても、必ず再度記入してご返信ください。）

Q 5. 試験の欠席はできますか？

A 5. 当協会のホームページ上の「技能検定（技能実習生向け）」ページに欠席届の専用様式がございます。事前に当協会へ欠席の旨を電話連絡後、FAXにて欠席届をご提出ください。
欠席の場合も、試験手数料の返金はできませんので試験を可能な限り受検してください。

Q 6. 試験の材料はどのように用意しますか？

A 6. 集合試験方式の場合は支給材料等、会場に準備されているものは当協会が準備します。受検者が準備するものを人数分ご用意ください。
出張試験方式（受入企業等で行う試験）の場合は、会場となる企業等で準備してください。一部職種・作業において試験材料を販売しております。P. 17「随時2・3級・基礎級 中央幹旋材料等一覧」をご確認ください。

Q 7. 試験対策・勉強はどうしたらいいですか？

A 7. 実技試験・学科試験の過去問題があります。
中央職業能力開発協会ホームページ上で過去問題の公開を（閲覧のみ）行っております。
コピーしたものが必要な場合は、P. 48過去問題コピーサービス申請書にてFAXにてお申し込みください。
会員は無料、非会員は1部500円＋送料がかかります。

Q 8. 実技試験の内容で不明点があり教えてもらえますか？

A 8. 内容については、実技試験実施要領と実技試験問題に記載されておりますので、そちらでご確認ください。内容についての質問には一切お答えできません。

Q 9. 実技試験の材料が試験問題に記載された物品で準備できない場合は、代替品でも可能ですか？

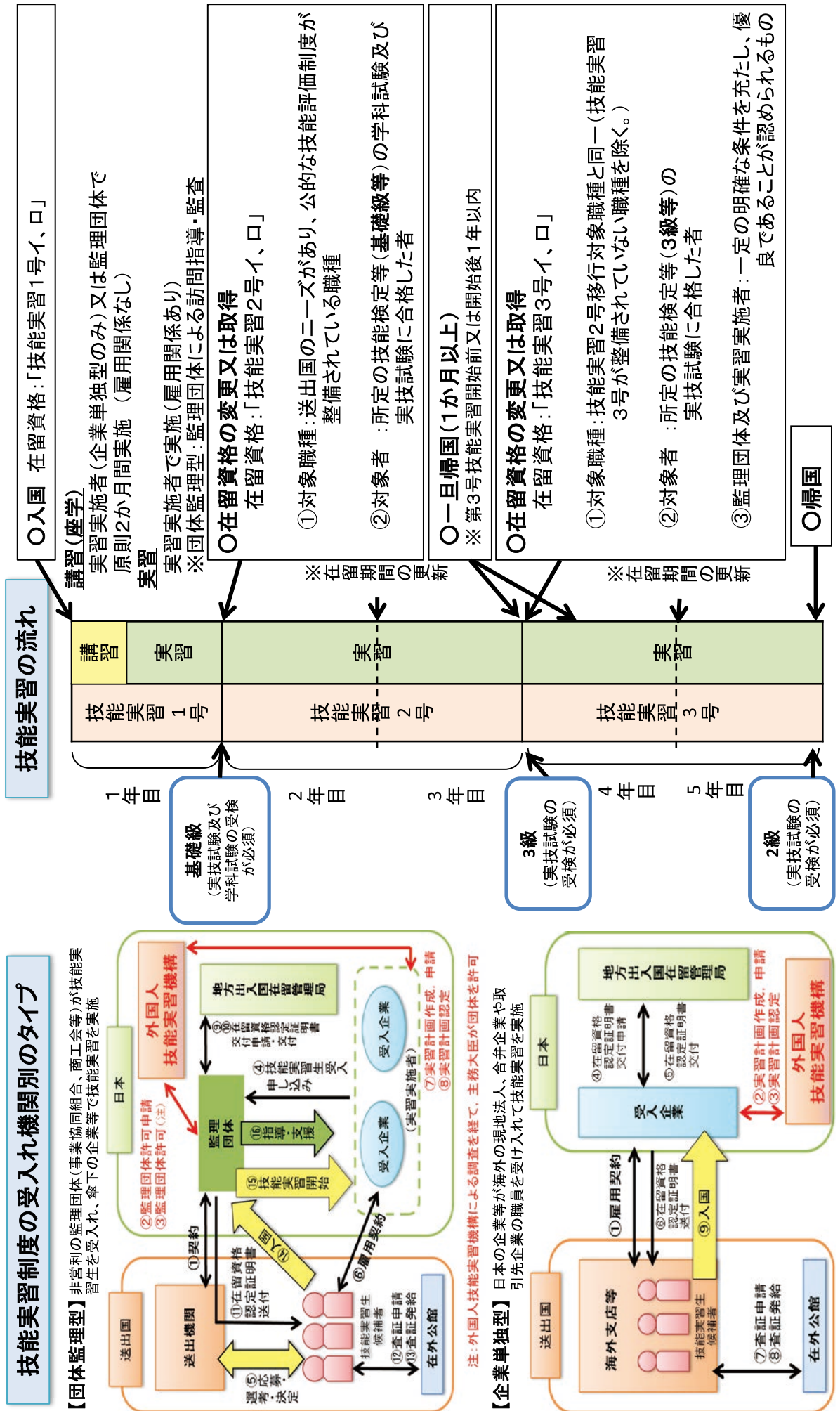
A 9. 全国統一の試験のため、指示された材料以外のものを使用することは認められておりません。なお、指定以外の材料等を準備している場合は、失格（不合格）となる場合もありますのでご注意ください。

Q 10. 実技試験の材料で試験問題に記載された規格品が見当たらないのですが。

A 10. 全ての準備品に既製品が対応しているとは限りません。受検者側にて既製品を加工し対応していただくような場合もありますので、試験日までに実施要領・試験問題で指示されている内容を十分ご確認ください。

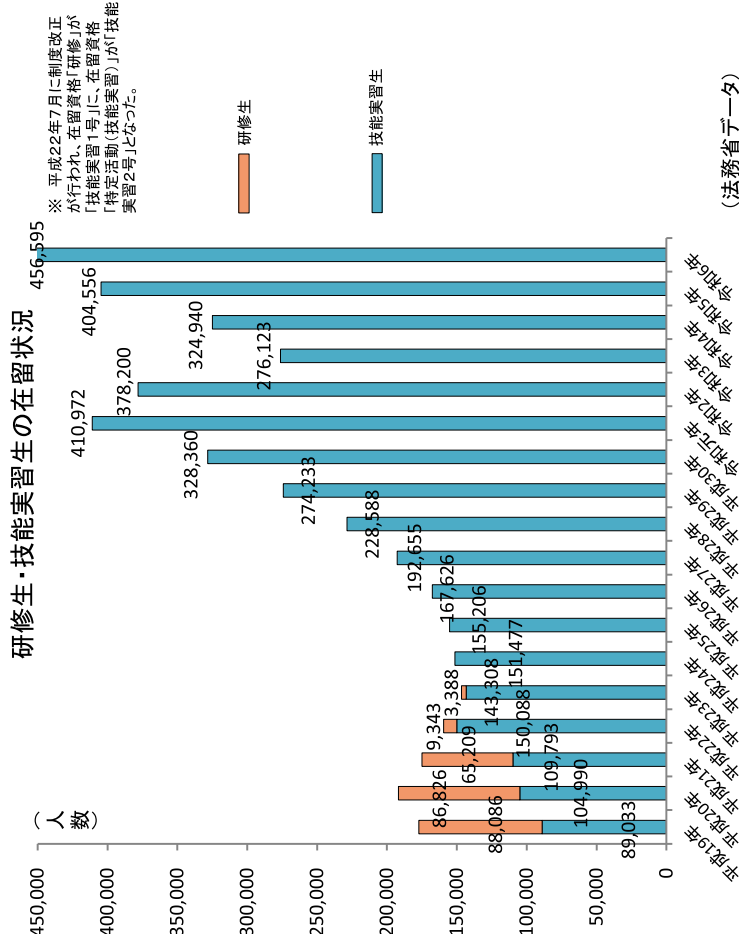
技能実習制度の仕組み

- 技能実習制度は、国際貢献のため、開発途上国等の外国人を日本で一定期間（最長5年間）に限り受け入れ、○「J」Tを通じて技能を移転する制度。（平成5年に制度創設）
- 技能実習生は、入国直後の講習期間以外、雇用関係の下、労働関係法令等が適用されており、現在全国に約46万人在留している。
※令和6年末時点

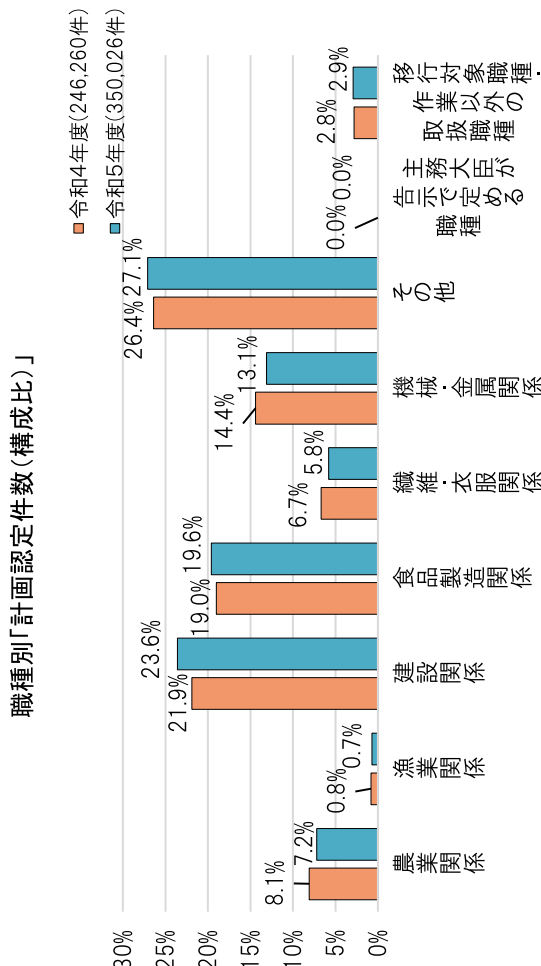


技能実習制度の現状

1 令和6年末の技能実習生の数は、456,595人



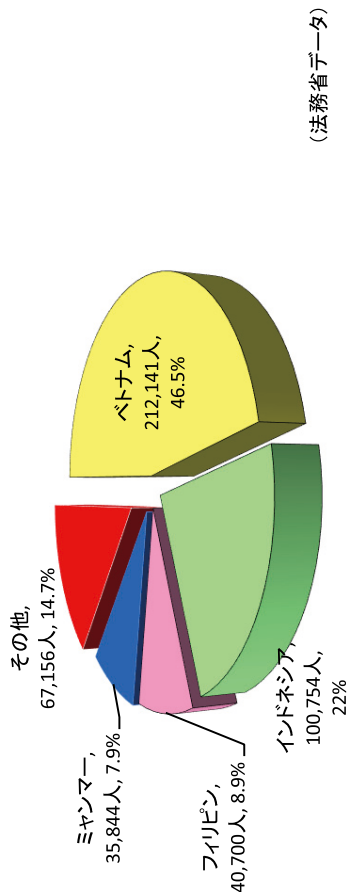
3 職種別では、①建設関係 ②食品製造関係 ③機械・金属関係が多い。



(令和5年度「外国人技能実習機構統計」)

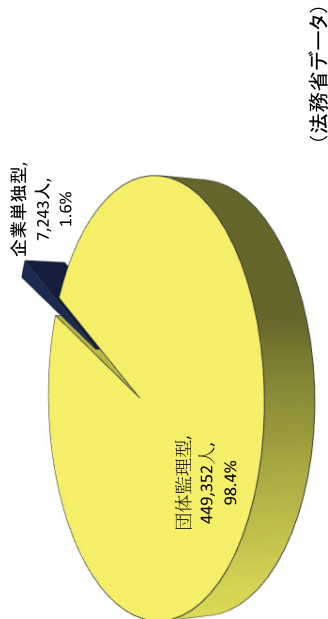
2 受入人数の多い国は、①ベトナム ②インドネシア ③フィリピン

令和6年末 在留資格「技能実習」在留外国人国籍別構成比(%)



4 団体監理型の受入れが98.4%

令和6年末「技能実習」に係る受入形態別在留者数



技能実習制度 移行対象職種・作業一覧 (91職種168作業)

1 農業・林業関係 (3職種7作業)

職種名	作業名
耕種農業●	施設園芸
	畑作・野菜
畜産農業●	果 樹
	養 豚
	養 鶏
	酪 乳
林業	育林・素材生産作業

2 漁業関係 (2職種10作業)

職種名	作業名
漁船漁業●	かつお一本釣り漁業
	延縄漁業
	いか釣り漁業
	まき網漁業
	ひき網漁業
	刺し網漁業
	定置網漁業
	かに・えびかご漁業
養殖業●	棒受網漁業△
	ほたてがい・まがき養殖

3 建設関係 (22職種33作業)

職種名	作業名
さく井	バーカッジョン式さく井工事
	ロータリー式さく井工事
建築板金	内外表板金
	ダクト板金
冷凍空調調和機器施工	冷暖空調調和機器施工
建具製作	木製建具手加工
建築大工	大工工事
型枠施工	型枠工事
鉄筋施工	鉄筋組立て
と び	と び
石材施工	石材加工
	石張り
タイル張り	タイル張り
	かわらぶき
左 官	左 官
配 管	建築配管
熱絶縁施工	断熱工
	保温保冷工事
内装仕上げ施工	プラスチック系床仕上げ工事
	カーペット系床仕上げ工事
鋼製下地工事	鋼製下地工事
	ボード仕上げ工事
カーテン工事	カーテン工事
	ビル用サッシ施工
防水施工	シーリング防水工事
コンクリート圧送施工	コンクリート圧送工事
ウェルポイント施工	ウェルポイント工事
表 装	壁 装
建設機械施工●	押土・整地
	積込み
	掘 削
	締固め
築 炉	築 炉

4 食品製造関係 (11職種19作業)

職種名	作業名
缶詰巻締●	缶詰巻締
	食鳥処理加工
	加熟性水産加工
	食品製造業●
調味加工品製造	調味加工品製造
	くん製品製造
	塩蔵品製造
	乾製食品製造
調理工品製造	調理工品製造
	生食用加工品製造
	かまぼこ製品製造
	牛豚食肉処理加工業●
ハム・ソーセージ・ベーコン製造	ハム・ソーセージ・ベーコン製造
	ハム製造
	ソー菜製造業●
	そう菜加工
農産物漬物製造	農産物漬物製造業●△
	医療・福祉施設給食製造

5 繊維・衣服関係 (13職種22作業)

職種名	作業名
紡績運転●	前紡工程
	精紡工程
織布運転●	巻糸工程
	合なん糸工程
染 色	準備工程
	製織工程
ニット製品製造	仕上げ工程
	糸浸染
たて編ニット生地製造●	織物・ニット浸染
	丸編みニット製造
紳士既製服縫製	たて編ニット生地製造
	婦人子供既製服縫製
下着類製造●	紳士既製服縫製
	下着類製造
カーペット製造●△	寝具製作
	織じゅうたん製造
帆布製品製造	タフテッドカーペット製造
	ニーデルバルベンチカーペット製造
布はく縫製	帆布製品製造
	ワイシャツ製造
座席シート縫製●	自動車シート縫製

6 機械・金属関係 (17職種34作業)

職種名	作業名
鑄 造	鋳鉄鋳物鑄造
	非鉄金属鋳物鑄造
鍛 造	ハンマ型鍛造
	プレス型鍛造
ダイカスト	ホットチャーンバタイカスト
	コールドチャーンバタイカスト
機械加工	普通旋盤
	フライス盤
金属プレス加工	数値制御旋盤
	マシニングセンタ
鉄工	構造物鉄工
	機械板金
工場板金めっき	電気めっき
	溶融亜鉛めっき
アルミニウム陽極酸化処理	陽極酸化処理
	治工員仕上げ
仕上げ	金型仕上げ
	機械組立仕上げ
機械検査	機械検査
	機械保全
電子機器組立て	電子機器組立て
	回転電機組立て
電気機器組立て	変圧器組立て
	配電盤・制御盤組立て
プリント配線板製造	開閉制御器組立て
	回転電機巻線製作
アルミニウム圧延・押出製品製造●△	プリント配線板設計
	プリント配線板製造
金属熱処理業●	引抜加工
	仕上げ
全体熱処理	全体熱処理
	表面熱処理 (浸炭・浸炭窒化・窒化)
部分熱処理 (高周波熱処理・炎熱処理)	部分熱処理 (高周波熱処理・炎熱処理)

7 その他 (21職種39作業)

職種名	作業名
家具製作	家具手加工
	オフセット印刷
製 本	クラビア印刷●△
	製 本
プラスチック成形	圧縮成形
	射出成形
インフレーション成形	インフレーション成形
	フロア成形
強化プラスチック成形	手積み積層成形
	建築塗装
塗 装	金属塗装
	鋼構塗装
溶 接●	噴霧塗装
	手溶接
工業包装	平自動溶接
	工業包装
紙器・段ボール箱製造	印刷箱打抜き
	印刷箱製箱
陶磁器工業製品製造●	配箱製造
	段ボール箱製造
機械組込み成形	機械組込み成形
	圧力鋳込み成形
ハット印刷	ハット印刷
自動車整備●	自動車整備
	ヘルクリーニング
介 護	ヘルクリーニング
	リネンサプライ仕上げ
クリーニング●△	クリーニング●△
	一般家庭用クリーニング
コンクリート製品製造●	コンクリート製品製造
	コンクリート製品製造
宿泊●△	接客・衛生管理
	RPF製造
RPF製造●	RPF製造
	軌道保守整備
JCM製品製造●△	JCM製品製造●△
	成形加工
押出し加工	押出し加工
	混練りほ延加工
複合積層加工	複合積層加工
	走行装置後修・解き装
鉄道車両整備●	鉄道車両整備●
	空気装置後修・解き装
木材加工●△	木材加工●△
	機械製材

○ 社内検定型の職種・作業 (2職種4作業)

職種名	作業名
空港グラウンドハンドリング●	航空機地上支援
	航空貨物取扱
ボイラーメンテナナンス●△	客室清掃△
	ボイラーメンテナナンス

(注1) ●の職種：技能実習評価試験に係る職種
(注2) △のない職種・作業は3号まで実習可能。

(令和7年3月7日時点)

技能実習生の「技能検定」に関する注意点



技能実習計画の認定を受けたら、速やかに受検申請をしてください。

- 技能実習1号から2号、2号から3号に移行するためには、技能検定に合格する必要があります。また、移行の有無にかかわらず、以下の受検が義務付けられています。

- ・ 技能実習1号修了までに「基礎級」技能検定（実技試験と学科試験）
- ・ 技能実習2号修了までに「随時3級」技能検定（実技試験）
- ・ 技能実習3号修了までに「随時2級」技能検定（実技試験）



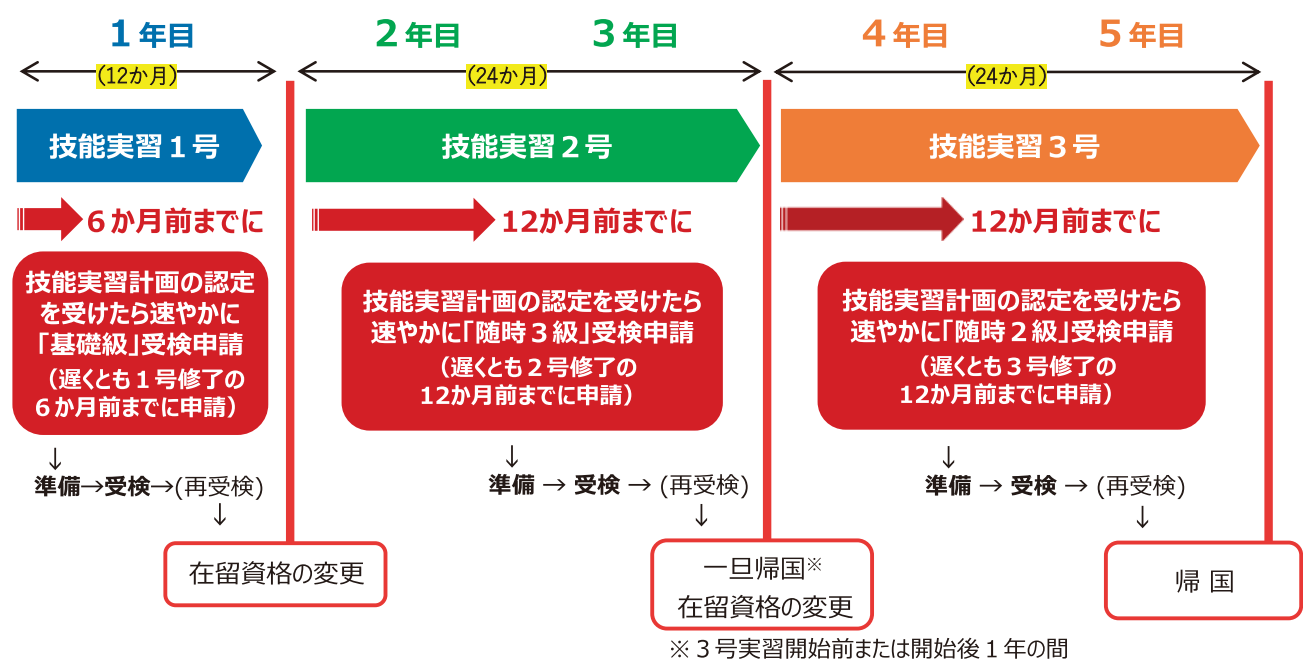
都道府県によっては、受検申請書の提出（又は外国人技能実習機構への受検手続支援申込み）から受検までの期間に一定の目安が設定されている場合があります（都道府県職業能力開発協会にご確認ください。）。

- 受検手続きが遅れた場合、試験日が在留期間終了の直前となってしまうことがあります。その試験で不合格となった場合、再試験が受けられなくなったり、場合によっては試験日が確保できず、そもそも受検ができなくなるおそれがあるので、ご注意ください。



次頁の留意事項を確認し、余裕を持って検定内容に合った技能実習と、検定試験のための準備をしてください。

- 技能検定（特に実技試験）は、試験の実施に当たり**原則として機材の準備、試験会場の確保が必要になる**ほか、受検申請の手続き開始から試験まで、一定の時間が必要です。



厚生労働省

人材開発統括官

技能検定受検に関する留意事項

技能実習制度は、開発途上地域などへの技能などの移転を図り、その経済発展を担う「人づくり」に協力することを目的とする制度です。

そのため、技能実習制度が利用できる職種のうち、一部のものについては、技能実習の目標として、該当する職種に関する技能検定に合格することを掲げており、それらの職種の技能実習を行う場合は、**必ず**技能検定を受検しなくてはなりません。

1 技能検定の内容を事前に確認しておきましょう。

実習内容は、技能検定合格に必要な技能が修得されるものとする必要があります。過去の試験問題を参考に、どのような技能検定が行われるかあらかじめ確認し、技能実習計画を作成してください。

また、都道府県によっては、一部の職種について技能検定を実施しない場合がありますので、技能実習を実施する都道府県の技能検定実施計画についても事前にご確認いただき、技能実習の目標としている技能検定が実施されていない場合は、各都道府県職業能力開発協会までご相談ください。

2 外国人技能実習機構へ受検手続支援を申し込みましょう。

1号実習生(1年目)は、技能実習計画の認定を受けたら速やかに（遅くとも実習が修了する6か月前までに）、また、2号実習生(2～3年目)と3号実習生(4～5年目)は、技能実習計画の認定を受けたら速やかに（遅くとも実習が修了する12か月前までに）、お申し込みください。

外国人技能実習機構では、技能実習生が、技能実習の各段階で技能検定を適切に受検し、次の段階に円滑に移行できるよう、受検手続きの支援を行っています。監理団体（企業単独型技能実習の場合は実習実施者）からの申込みに基づき、試験実施機関に取り次ぐことで、試験実施に関する日程調整などが円滑になるようにします。また、試験実施機関からの合否結果を迅速に把握することで、技能実習計画認定の審査への円滑な反映などにつなげています。

監理団体または企業単独型実習実施者は、外国人技能実習機構が提供する「受検手続支援サイト」(<https://www.juken.otit.go.jp>)で、上記の期限内に必ず受検手続き支援の申請をお願いします（申請の際は、「個人情報の取り扱いに係る同意書」も必要です）。

3 再受検の可能性もあります。余裕を持って受検しましょう。

技能検定で不合格だった場合、技能実習期間中の再受検は1回までとされています。申請手続きが遅れた場合、実習期間中に試験日が設定できなくなるおそれがあり、設定できたとしても、その試験で不合格の場合に再受検の日程を確保するゆとりがないことになりかねません。

また、確実に受検できるよう、申請書類（受検申請書、在留カードの写しなど）を全て揃えておくよう実習生とともに確認してください。

4 実技試験の実施に必要な設備等の準備について、ご理解をお願いします。

実技試験の適切な実施の観点から、**試験に必要な設備、機器（実技試験実施要領の設備基準に適合したもの）などが確保できる試験会場の準備については、監理団体または実習実施者にご協力いただいています。**詳細は、各都道府県職業能力開発協会にお問い合わせください。

5 技能検定委員の推薦について、ご理解をお願いします。

試験日程の関係などから、監理団体または実習実施者に、受検者が所属する企業以外の方による技能検定委員の推薦を依頼することがありますので、ご理解とご協力をお願いします。詳細は、各都道府県職業能力開発協会にお問い合わせください。

受検申請から合格証書交付までの流れ

※ 都道府県によっては、受検時期（通常は修了の3か月前めど）を前倒しで調整することがあります。
（都道府県職業能力開発協会にご確認ください）

監理団体
（実習実施者）

① 受検手続き支援申込み

技能実習計画の認定を受けたら速やかに受検手続き支援サイトにて申込みしてください。遅くとも在留期間が半分過ぎる前まで（1号：修了の6か月前まで、2号・3号：修了の12か月前まで）に申請します。

※外国人技能実習機構の有する情報を都道府県職業能力開発協会に、都道府県職業能力開発協会の有する情報を外国人技能実習機構に、それぞれ提供することについての同意書が必要です。

受検手続き支援サイト
（外国人技能実習
機構）

② 受検日の連絡

1号：修了の4～5か月前めど※、2号および3号：修了の7～8か月前めど

③ 受検申請書送付・受検手数料納付

④ 受検票交付

⑤ 試験に用いる設備等が基準に適合しているかの確認

⑥ 試験実施 ～ ⑦ 一部合格通知の交付（一部合格の場合）

1号：修了の3か月前めど※、2号：修了の6か月前めど
3号：修了の6か月前めどから計画満了日まで

※都道府県の実情によって異なります

⑧ 合格証書の交付（学科と実技の両方に合格した場合）

都道府県
職業能力開発協会
（試験実施機関）

都道府県
（合格決定機関）

よくあるご質問

Q. 過去に実施された試験問題を閲覧できますか。

A. 都道府県が実施する技能検定については、技能検定試験問題公開サイト
（<https://www.kentei.javada.or.jp/>）で閲覧できます。

Q. 試験会場はどこでもよいのですか。

A. 作業に必要なスペースの確保など、職種ごとに一定の基準が定められています。その基準を満たす会場として、都道府県職業能力開発協会が認めた会場でなければなりません。
詳細は、事前に都道府県職業能力開発協会にご照会ください。

Q. 試験日や試験会場を変更することはできますか。

A. できません。

Q. 病気などで受検できなくなった場合、受検手数料は返してもらえますか。

A. お支払いされた受検手数料は、理由の如何を問わず返還することはできません。

Q. 外国人技能実習機構の受検手続き支援サイトを利用せず、直接、都道府県職業能力開発協会に申し込むことはできますか。

A. 円滑な受検手続のため、外国人技能実習機構が提供する受検手続き支援サイトをご利用いただくようお願いしていますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

Q. 都道府県職業能力開発協会により、受検申請手続きや実技試験の準備など、運営方法が違いますが、統一できませんか。

A. 都道府県職業能力開発協会では、都道府県ごとに管内の実情が異なる中、多数の外国人技能実習生に対し、円滑に試験が実施できるよう、運営方法を定めていますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

外国人技能実習機構（受検手続支援窓口）

【住所】〒108-0022 東京都港区海岸3-9-15 LOOP-X 3階 【電話】03-6712-1974

【受検手続支援サイト】<https://www.juken.otit.go.jp> 【機構HP】<https://www.otit.go.jp>

都道府県職業能力開発協会または指定試験機関が実施する技能検定職種のお問い合わせ先

協会名	郵便番号	所在地	電話番号	ホームページアドレス
北海道職業能力開発協会	003-0005	札幌市白石区東札幌5条1-1-2 北海道立職業能力開発支援センター内	011-825-2386	https://www.h-syokunou.or.jp/
青森県職業能力開発協会	030-0122	青森市大字野尻字今田43-1 青森県立青森高等技術専門校内	017-738-5561	https://www.a-noukaikyo.com/
岩手県職業能力開発協会	028-3615	紫波郡矢巾町大字南矢幅10-3-1 岩手県立産業技術短期大学校内	019-613-4620	https://www.noukai.com/
宮城県職業能力開発協会	981-0916	仙台市青葉区青葉町16-1	022-271-9917	http://www.miyagi-syokunou-kyoukai.com/
秋田県職業能力開発協会	010-1601	秋田市向浜1-2-1 秋田県職業訓練センター内	018-862-3510	https://www.akita-shokunou.org/
山形県職業能力開発協会	990-2473	山形市松栄2-2-1 山形県立山形職業能力開発専門校3階	023-644-8562	https://www.y-kaihatu.jp/
福島県職業能力開発協会	960-8043	福島市中町8-2 福島県自治会館5階	024-525-8681	https://business2.plala.or.jp/fuvada/
茨城県職業能力開発協会	310-0005	水戸市水府町864-4 茨城県職業人材育成センター内	029-221-8647	https://ibaraki-vada.com/
栃木県職業能力開発協会	320-0032	宇都宮市昭和1-3-10 栃木県庁舎西別館1階	028-643-7002	https://www.tochi-vada.or.jp/
群馬県職業能力開発協会	372-0801	伊勢崎市宮子町1211-1	0270-23-7761	https://www.gvada.jp/
埼玉県職業能力開発協会	330-0074	さいたま市浦和区北浦和5-6-5 埼玉県浦和合同庁舎5階	048-827-0075	https://www.saitama-vada.or.jp/
千葉県職業能力開発協会	261-0026	千葉市美浜区幕張西4-1-10	043-296-1150	https://chivada.or.jp/
東京都職業能力開発協会	133-0065	江戸川区南篠崎町3-28-1 モノダスサンコーBLDG1階	03-6631-6054	https://www.tokyo-vada.or.jp/
神奈川県職業能力開発協会	231-0026	横浜市中区寿町1-4 かながわ労働プラザ6階	045-319-4586	https://www.kan-nokaikyo.or.jp/
新潟県職業能力開発協会	950-0965	新潟市中央区新光町15-2 新潟県公社総合ビル4階	025-283-2155	https://www.nvada.com/
富山県職業能力開発協会	930-0094	富山市安住町7-18 安住町第一生命ビル2階	076-432-9887	https://www.toyama-noukai.or.jp/
石川県職業能力開発協会	920-0862	金沢市芳斉1-15-15 石川県職業能力開発プラザ3階	076-262-9020	https://ishivada.com/
福井県職業能力開発協会	910-0003	福井市松本3-16-10 福井県職員会館ビル4階	0776-27-6360	https://www.fukui-shokunou.jp/
山梨県職業能力開発協会	400-0055	甲府市大津町2130-2	055-243-4916	http://www.yavada.jp/
長野県職業能力開発協会	380-0836	長野市大字南長野南県町688-2 長野県婦人会館3階	026-234-9050	https://www.navada.or.jp/
岐阜県職業能力開発協会	509-0109	各務原市テクノプラザ1-18	058-322-3678	https://www.gifu-shokunou.or.jp/
静岡県職業能力開発協会	424-0881	静岡市清水区楠160	054-345-9377	https://www.shivada.com/
愛知県職業能力開発協会	451-0035	名古屋市中区浅間2-3-14 愛知県職業訓練会館内	052-524-2039	https://www.avada.or.jp/
三重県職業能力開発協会	514-0004	津市栄町1-954 三重県栄町庁舎4階	059-228-2732	http://www.mivada.or.jp/
滋賀県職業能力開発協会	520-0865	大津市南郷5-2-14	077-533-0850	https://shiga-nokaikyo.or.jp/
京都府職業能力開発協会	612-8416	京都市伏見区竹田流池町121-3 京都府立京都高等技術専門校内2階	075-642-5075	https://www.kyo-noukai.com/
大阪府職業能力開発協会	550-0011	大阪市西区阿波座2-1-1 CAMCO西本町ビル6階	06-6534-7510	https://www.osaka-noukai.jp/
兵庫県職業能力開発協会	650-0011	神戸市中央区下山手通6-3-30 兵庫勤労福祉センター1階	078-371-2091	https://www.noukai-hyogo.jp/
奈良県職業能力開発協会	631-0824	奈良市西大寺南町8-33 奈良商工会議所会館3階	0742-52-4122	https://www.aaa.nara.nara.jp/
和歌山県職業能力開発協会	640-8272	和歌山市砂山3-3-38 和歌山技能センター内	073-425-4555	https://w-syokunou.com/
鳥取県職業能力開発協会	680-0845	鳥取市富安2-159 久本ビル5階	0857-22-3494	http://www.hal.ne.jp/syokunou/
島根県職業能力開発協会	690-0048	松江市西嫁島1-4-5 SPビル2階	0852-23-1755	https://www.noukai-shimane.or.jp/
岡山県職業能力開発協会	700-0812	岡山市北区出石町1-2-11 イマージュ・シャトー2階	086-225-1547	http://www.okayama-syokunou.or.jp/
広島県職業能力開発協会	730-0052	広島市中区千田町3-7-47 広島県情報プラザ5階	082-245-4020	https://www.hirovada.or.jp/
山口県職業能力開発協会	753-0051	山口市旭通り2-9-19 山口建設ビル3階	083-922-8646	https://y-syokunou.com/
徳島県職業能力開発協会	770-8006	徳島市新浜町1-1-7	088-663-2316	https://www.tokunoukai.jp/
香川県職業能力開発協会	761-8031	高松市郷東町587-1 地域職業訓練センター内	087-882-2854	https://www.noukai-kagawa.or.jp/
愛媛県職業能力開発協会	791-8057	松山市大可賀2-1-28 アイテムえひめ内	089-993-7301	https://www.ehime-noukai.or.jp/
高知県職業能力開発協会	781-5101	高知市布師田3992-4	088-846-2300	https://kovada.or.jp/
福岡県職業能力開発協会	813-0044	福岡市東区千早5-3-1 福岡人材開発センター2階	092-671-1238	https://www.fukuoka-noukai.or.jp/
佐賀県職業能力開発協会	840-0814	佐賀市成章町1-15	0952-24-6408	https://saga-noukai.com/
長崎県職業能力開発協会	851-2127	西彼杵郡長与町高田郷547-21	095-894-9971	https://www.nagasaki-noukai.or.jp/
熊本県職業能力開発協会	861-2202	上益城郡益城町田原2081-10 電子応用機械技術研究所内	096-285-5818	https://www.noukai.or.jp/
大分県職業能力開発協会	870-1141	大分市大字下宗方字古川1035-1 大分職業訓練センター内	097-542-3651	https://www.noukai-oita.com/
宮崎県職業能力開発協会	889-2155	宮崎市学園木花台西2-4-3	0985-58-1570	https://www.syokuno.or.jp/
鹿児島県職業能力開発協会	892-0836	鹿児島市錦江町9-14	099-226-3240	https://syokunou.or.jp/
沖縄県職業能力開発協会	900-0036	那覇市西3-14-1	098-862-4278	https://oki-vada.or.jp/
【ビルクリーニング】(公社)全国ビルメンテナンス協会	116-0013	東京都荒川区西日暮里5-12-5 ビルメンテナンス会館5階	03-3805-7560	https://www.j-bma.or.jp/
【林業】(一社)林業技能向上センター	101-0044	東京都千代田区鍛冶町1-9-16 丸石第2ビル6階	03-4334-7377	https://ringyou-gino.org/
【機械保全】(公社)日本プラントメンテナンス協会	101-0051	東京都千代田区神田神保町3-3 神保町SFⅢビル5階	03-6865-6083	http://www.kikaihozenshi.jp/

(2025.3)

受検時の注意事項

試験当日、実技試験問題（当該年度のもの。コピー不可。）を忘れてくる方が非常に多くなっています。その場合、受検することは可能ですが、

実技試験問題の再発行は致しませんのでご注意ください。

協会指定会場実施の注意点

- ・マスクの着用にご協力ください
 - ・新型コロナウイルスの疑いがある方、濃厚接触者が出た際は静岡県職業能力開発協会（054-345-9377）に早急に連絡をください。
 - ・事前に配布した当該年度の実技試験問題に記載されている「受検者が準備するもの」は受検人数分用意してください。
- ※随時3級とび作業の実技試験は事前準備があるため、早めに集合してください。詳しくは実施計画書を参照してください。

企業会場実施の注意点

- ・マスクの着用にご協力ください
- ・新型コロナウイルスの疑いがある方、濃厚接触者が出た際は静岡県職業能力開発協会（054-345-9377）に早急に連絡をください。
- ・企業で行いますので材料（支給材料は協会から支給されません）、採点工

具、設備等は、監理団体・受入企業等で受検人数分を準備する

ようお願いします。準備不足の為、当日の試験実施が困難となった場合、欠席扱いとなりますのでご注意ください。





※前日夜、土曜日、日曜日、祝日に新型コロナウイルス感染症の発症や疑いが発生した場合は、FAX（054-345-2397）又は、メール（shizuoka@shivada.com）にて連絡をお願いします。直近の試験に関係する場合は電話連絡も併せてお願いします。試験日当日の連絡については、どんな場合でも欠席扱いとなりますのでご注意ください。

同封の実施要領・実技試験問題・受検案内を読み、最低でも受検票が届くまでに試験の準備をお願いします。

その他、試験の実施にあたり、連絡事項があれば同封のFAX送信あんない下部の余白に記載してください。

金属プレス作業用金型借用時の注意事項

金型借用後の流れ

- ① 試験日の2～3週間前に金属プレス作業用 金型が受入企業に到着します。
到着後、すぐに金型の箱に同梱されている「金属プレス金型受領書兼報告書」及び「金属プレス金型チェック表」に記載されている内容と金型の現物を確認してください。

- ② 試験当日までに「金属プレス金型受領書兼報告書」を企業側で作成してください。

- ③ 試験終了後、金型を企業側で分解してください。
分解した状態の金型を検定委員が「金属プレス金型受領書兼報告書」及び「金属プレス金型チェック表」にて金型をチェックします。

- ④ チェック後、検定委員から渡された「金属プレス金型チェック表」と事前に作成した「金属プレス金型受領書兼報告書」を協会にメールまたはFAXしてください。

- ⑤ 「金属プレス金型受領書兼報告書」「金属プレス金型チェック表」の原本は金型の箱に同梱し、次の送付先へ送ってください。（金型は分解された状態のまま）
※金型梱包の際には部品保護のため、ウエス等の緩衝材使用のご協力をお願いいたします。

※次の企業に送付する際は送付状のコピーを必ず協会に送りください。

イ.金型はリレー形式で送っています。次の企業のことも考え、取扱いに充分配慮し、適切に保管ください。

※経年劣化・金属疲労等の使用上やむを得ない場合を除き、破損・紛失等された場合は図面に示されている寸法で原状復帰後、返却していただきます。

ロ.お貸ししている金型は絶対に加工しないでください。プレス機と適合しない部品は自社でご用意ください。

但し金属プレス加工（金属プレス作業）「実技試験実施要領」の指示内容から逸脱する事が無いよう十分に注意してください。

※イ.及びロ.に該当する事項が発生した場合は、事前に必ず協会に連絡し、指示を受けてください。

ハ.粗雑な金型の取扱いが続き、他企業の試験に悪影響を及ぼすと判断した貸出先には、金型の借用をお断りさせていただく可能性がございます。その場合は自社で金型をご用意ください。

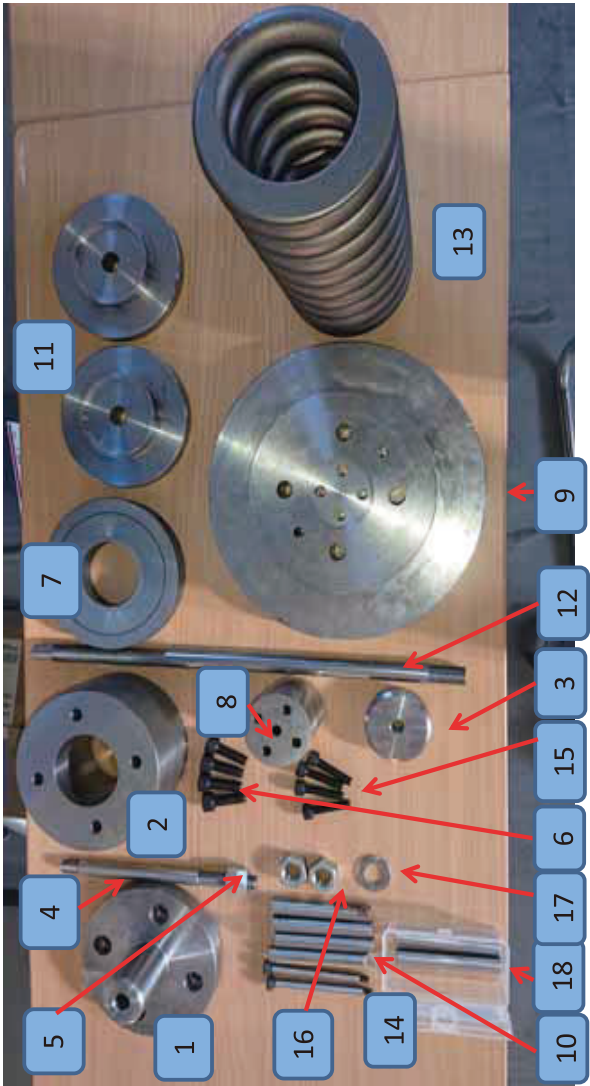
外国人実習生技能検定 金属プレス金型チエック表

※金型部品に異常がある場合は職能協に連絡をお願いします。
※試験日当日に作製した製品（検定日、企業名を記載）を同梱して、次の会場へ送付して下さい。

2022.4

※金型使用後、部品チエック
をお願いします

使用後部品チエック欄		
No.	部品名	数量
1	ダイホルダー	1
2	ダイ	1
3	ロックアウト	1
4	ロックアウトロッド	1
5	ナット(M12)	2
6	六角穴付きボルト(M10×30)	4
7	フランクホルダー	1
8	パンチ	1
9	パンチホルダー	1
10	クッションピン	4
11	クッションバット	2
12	ボルト	1
13	パネ	1
14	段付きボルト	2
15	六角穴付きボルト(M8×35)	4
16	ナット(M16)	2
17	座金	1
18	クッションピン（随時2級用）	2



※部品チエック後、金型送付状と一緒に
FAXお願いします

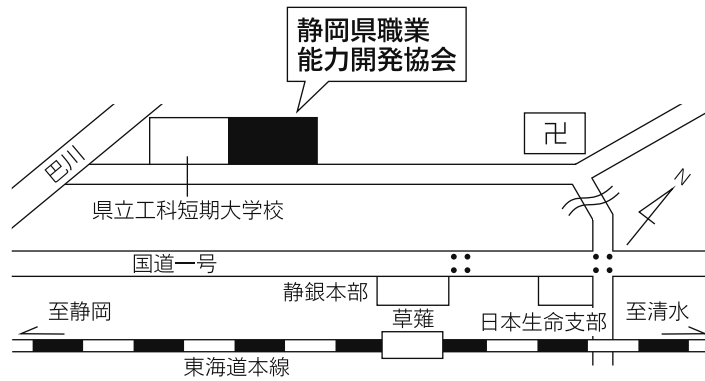
【静岡県職業能力開発協会】

TEL : 054-345-9377
FAX : 054-345-2397

金属プレス金型受領書兼報告書

会 社 名				
受領年月日	年 月 日			
確 認 者 名				
確 認 事 項 (異常がなければ正常に○印)				
1. 部品点数	点数	正常	不 足	その他
(1) 不足部品名 点数 ・ 品 番				
2. 損壊部品 正常				
(1) 損壊・傷等 点数				
(A) 損壊部品名 点数 ・ 品 番 ・ 損壊状況 (具体的に)				
(b) 傷 等 点数 正常 ・ 品 番 (具体的に)				
3. その他 点数 無 ・ 品 番 (具体的に)				
4. 試し加工や練習時加工で加工品に傷等が発生した場合 (A) 傷の有無 正常 ・ 傷等の状況 有 (具体的に)				
5. その他報告する事項がありましたら記入して下さい。 (具体的に)				

技能検定に関するお問い合わせ



〒424-0881 静岡市清水区楠160
静岡県職業能力開発協会

電話 〈054〉 345-9377(代)

F A X 〈054〉 345-2397

H P <https://www.shivada.com/>

駒越会場

〒424-0904

静岡市清水区駒越中 2 丁目 1-64

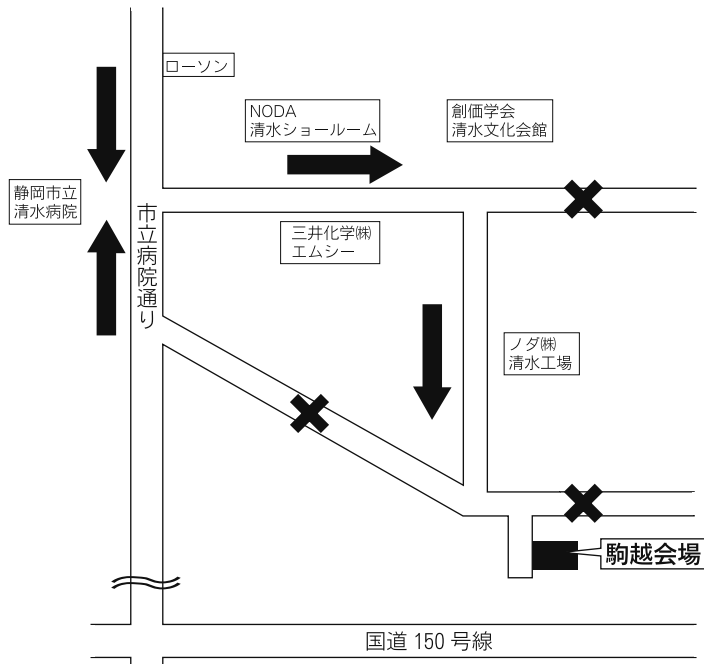
**静岡県職業能力開発協会
駒越会場**

(東名清水 I C より約30分)

電話 なし

F A X なし

※ご用の際は事務所（054-345-9377）まで



会場周辺には、小学校があり、通学路となっております。道もせまいので運転には十分注意してください。（登下校の時間帯は特に注意してください。）

また、こちらに記載のルートで必ずお帰りください。違うルートで帰らないようにしてください。

会場周辺での喫煙は、完全に禁止です。
トイレはありますが、和式トイレです。
敷地周辺は住宅地になりますので、周辺住民へ迷惑になるような行動・行為はしないでください。